夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一ヶ月 金八十錢 郵稅 一ヶ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇番・三二二五番
發行人 十河柴忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

新京日本橋通一九 奉天春日町 中谷時計店 貴金屬店カメラ

大同、利民の榮ある進水式
昨日盛大に擧行さる

【ハルビン廿七日發國通】滿洲國江上の護り精鋭大同、利民二砲艦の進水式は廿七日午前十時卅分松花江岸北造船所に於て

『盛大』に擧行された、此日梅雨そぼ降る中を早くも午前九時半軍政部總長張景惠將軍、執政御差遣の侍從武官金上將、小林駐滿海軍司令官、筑紫參謀、立法院長趙欣伯、森島總領事、呂市長を始め日滿諸名士五百名式場に續々と集り、軍樂隊の奏樂裡に夫々所定の席に就いた、同十時滿艦飾を施せる大同は進水準備全く成つて今や唯進水命令を待つばかりとなつた、茲に於て三菱神戸造船所代表河內技師は進水準備完了を報告するや張軍政部總長命名書を朗々と讀上げ續いて東北造船所長は支え綱を切斷した、船首のサンペン酒は砕れ船首から鳩が舞ひ出した、斯くして參列者五百名、息詰まる緊張の中を大同はレールの上を音もなく滑り始めた、ワアツと揚る歡呼の聲は軍樂隊の奏樂を消した、時に十時三十分大同はぽつかり江上に浮んだ、去る五月二日三菱造船所により起工されてより茲に五十有餘日、大滿洲國新鋭砲艦大同は榮ある進水式を

『完了』した、姉妹艦利民も續いて十二時三十分同じ順序で進水した、斯くて午後一時造船所構內に設けられた祝賀會場に於て祝宴が開かれ各代表の挨拶に續き「大同利民の進水を祝す」との大角海相の祝電を始め武藤關東軍司令官、高橋軍令部次長、安藤旅順要港司令官の祝電朗讀が行はれ午後三時此の意義ある盛大な進水式を芽出度く終つた

海邊警察隊の諸艦
續々配備に就く

滿洲國海の護り海邊警察隊は北滿江防艦隊の整備、國內治安維持の漸次回復されつゝあるに並行して、爰には大型警備船「海鳳」以下精鋭六隻の進水を終り其內一隻「海光」は既に營口本部に廻航され任務に就きつゝあるが、他の警備船も愈々七月上旬までには原隊に配屬され、一齊に海の警備につく事となつた

斯くて數十隻よりなる、警備船は或は數門の大砲、或は機關銃、探照燈を有し快速を利用し渤海を游弋名物の海匪掃蕩の任に當る外、警務司營口本部、大東溝莊河、復州、西海口、興城各分隊とは無電を以て連絡陸上警備機關と緊密なる連絡協調を圖りつゝ海の護りとなるもので茲に海上の治安は確保される事となつた

警備狀況を滿博で紹介す
民政部の新企て

來る七月下旬より大連市に於て開催される滿洲大博覽會に滿洲國の實情を紹介するため各關係方面に於て出品につき協議夫々決定を見て居るが、民政部警務司に於ては國內治安問題が萬人の注視の的となつて居る現狀に鑑み、經費の許す限り現狀を說明する事となつた、即ち出品は現在の警察配備狀況、匪賊狀況、警察官服制等警察關係事項各般に亘り舊政權時代に現在を比較圖示、モデル使用等により紹介するもので、國內治安狀況を一目にして瞭然たらしめ得るものである

文教部教員講習所
第一回修了式

滿洲國國民教育の第一線に立つてゐる小學校教員に滿洲國教育精神を徹底せしむべく文教部が、去る四月一日から奉天、吉林、黑龍江の各省並に北滿特別區新京等から合計百名の優良教員を新京に集め教員講習所で鋭意教育中であつたが、愈々三ヶ月の講習期間を終へたので、二十七日午前十時から鄭國務總理代理、執政府王季烈以下三十名及び來賓臨席の上第一回修了式を擧行した、尙式後講習生の成績展覽會あつて、小宴に移り十二時式を閉ぢた、該講習會は第一回の試みとして各方面から期待されてゐたが講師及講習生の努力により豫想以上の成績を收め得た、此等の建國精神を體得したる講習生が滿洲國民教育に活躍することは刮目に値ひする、講習生は旅順、大連の日本初等教育視察の爲本日午後十時發南行する

經濟會議の不成績に
英國聲明書を發す

【ロンドン廿六日發國通】今次の經濟會議は開會以來本會議、通貨經濟兩委員會共に一般から注目されるやうな華々しい議事が無いので斡旋役の英國官邊では此點を闡明して左の如く聲明した

非公開委員會の議事は一般人の關する限り極めて精彩に乏しいものだが、之こそ會議が何等か具體的成果に到達する唯一の道であり、而して各分科委員會の議事が進捗して通貨、經濟兩委員會の何れか乃至は本會議そのものを開會を必要とするに至れば何時でも之を開く事は勿論である、併し今週中に會議が何等かの素晴らしい進展を見せる事は目下の處期待出來ない

帝國代表
シムラ商議出席 任命さる

【東京廿七日發國通】シムラ日印通商會議に出席する日本側代表は、廿七日の閣議で決定、左の如く發令された

特命全權公使 澤田節藏
商工省貿易局長 寺尾進
印度シムラに於ける日印通商問題會議に關する帝國代表を仰付けらる（各通）

尙は民間側の人選に關しては大日本紡績聯合會阿部委員長の手で詮衡する事となつた

英領ケニヤでも
高率の新關稅附加

【ナイロビ（東アフリカ）廿七日發國通】英領ケニヤに於ても、今回綿製品、其他の輸入品に對し、高率の新關稅を附加することゝなつた、右につき日本として歐洲大戰後締結せられたアフリカ開拓、機會均等の原則によるコンゴオギエンチ條約に日本も參加してゐるので、此種差別關稅附加に對し、あくまでこれを條約違反として抗議し得る權利を持つてゐるので、英國に對し嚴重に抗議するものと見られてゐる

古跡保存法
參議府通過

二十七日の參議府定例會議は午後二時より開會、古跡保存法、官吏服務規定の二案を可決した、執政の決裁を得て二十八日公布の筈

大亞細亞主義の叫び
廣東から日本國民へ

【東京二十七日發國通】陸軍省二十七日著電に依れば親日運動で有名な廣東の大亞細亞協會は此程聲明書を我國民に寄せて日支兩國提携による大亞細亞主義確立の必要なる旨を力說、その實行運動に着手する事になつたと之れに對し我國側は未だ滿を持して放たないが、先方から誠意を以て申込み來れば民間某團體先づ蹶起し漸次具體化し來るものと期待される

滿洲の表玄關
大連から見た
（二）滿洲國發展テンポ

次に支那人の渡滿者の動きを吟味して滿洲獨立國家の出現が支那移住民の上にどんな影響を與へてゐるかを見よう、大連を經由して往來する支那人は主として山東人で渡滿の目的は働きに來る者並に絕えざる支那全國に於ける動亂から脫出して生命財產を求めて來るものである、從つてこの動きは滿洲の治安の如何、產業開發と密接に結ばれるものである

大連埠頭上陸並に乘船支那人（滿鐵埠頭事務所統計）

年次（自四月至翌三月）	上陸者	乘船者	滯滿者
昭和三年度	四五二、一一〇	一〇五、五〇一	三四六、六〇九
四年度	四七二、七六九	二四一、七六一	二三一、〇〇八
五年度	三〇三、五二五	二〇五、七八九	九七、七三六
六年度	二三一、四二〇	二二九、九七九	一、四四一
七年度	二九六、四四九	二六四、六八六	三一、七六三

右の數字によつて我々は日本の對滿政策、滿洲內部並に支那自身の政情が支那人の渡滿の動きに明白に反映してゐる事を看取する。

即ち昭和三年四月は政友會の對支積極政策の影響で滿洲に於ける事業が勃興し、好景氣を出現したので山東移民が滿洲へ殺到し、また支那よりも多大の程度に治安の維持されてゐる滿洲に故鄕の無秩序さ無政府狀態から脫れて安住の地を求めに來た者が多い結果滯滿者の數は二十數萬人に達した。然るに其後東北政府の抗日政策と人民に對する苛斂誅求によつて、產業は萎微し、秩序は紊亂した結果渡滿者は激減し、離滿者は增加し從つて滯滿者は著しく減少したさりわけ事變直前、直後の昭和六年度の如きは滯滿者は殆んどないといふ狀態を示した。然るに特色的なのは昭和七年四月から八年三月に至る七年度の現象である、この年の始め頃はまだ滿洲國の礎實性が支那人一般に疑はれ、また反滿洲軍並に匪賊の橫行甚しく、ために滿洲の住民中支那方面へ退去したものが相當多く、また新らしい渡滿者も著減したのであつた。然るに年の中頃から滿洲國の基礎は愈々強固性を加へ、治安は回復し產業の振興も日に見へ出したので、避難した者も續々歸還し、移民も渡來するやうになつたのである、かくて昭和七年度にも相當數支那人が滯滿するに至つた

新京日日新聞社 營業部 電三三〇〇番

珠玉を碎く
禁無斷上映上演
吉井勇 （高根秀浩畫）

（四十）
饗宴（十一）

暫らく氣まづいやうな、白けた沈默が二人の間に續いた。と大貫は急に思ひ出したやうに椅子から立ち上つて、

「いや、僕の話といふのはそれだけだよ。要に角昔僕があの女とさういふ關係にあつたといふ事を知らせて置きたいと思つて、ぶしつけにこのドアをたゝいたといふ譯なんだ。それぢやあ僕はこれからちよつと橫濱まで行く用があるから失敬する……」

といつて、輕く頭を下げただけでさつさと部屋を出かけて行つてしまつた。

英一は餘つ程呼び留めて、もつと詳しい話を聽かうと思つたが、しかしこれ以上不愉快な話を聽かされるのに堪へなかつたので、唯默つてこの惡魔の影を背負つてゐるやうな男の後姿をむしろ傷ましいやうな表情で見送つてゐた。

が、大貫が出て行つてしまふと英一の胸からは何だか顏を見合はせてゐた間に感じられてゐた憤りの情は、だんだん消えるやうにうすれて行つた。それよりも彼の心には、昔あれほど世間の人氣の中心になつて、華々しい生活をしてゐた友が、今かうして世を呪ひ女を呪ふやうな厭世觀を抱くやうになつたといふことに對して、限りなき痛みが感じられた。大貫のいつてゐた言葉を思ひ返して見ると、彼は世を呪ひ女を呪つてゐるばかりではない、彼自身をも自ら呪つてゐるのである。彼は自分は惡魔的な心持で言つてゐる言葉も、その實惡魔に憑かれた男の囈言に過ぎないではないか。

『あれがあの華々しく世に現れた天才兒の成れの果なのだらうか』

さう思ふと英一は、もう到底憤りなどを感じてゐることは出來なかつた。かれの胸には唯世の中の冷酷さが、痛い程鋭く感じられた。人氣の絕頂から忽ち人氣のどん底にまで突き落した世の中の冷たい手が、目にありありと見えるやうな氣がした。

英一は長椅子の上に腰を下して考へてゐた。が、不圖窓際に置かれた百合の鉢を見ると、急にまた昨夜から今日にかけての樂しい數々の會の名殘を忍ばずにはゐられなかつた。黑髮の匂ひはまだ部屋の中に漂つてゐるし、囁きの聲もまだ耳の底に殘つてゐた。頂に捲かれた柔かい腕の快い肌觸りを、何うしてさうすぐに忘れることが出來よう。かれの目には露子の薔薇のやうに紅い唇が、まだありありと映つてゐる……。

「いや、大貫が何と言はうとも、おれは露子と離れて生きることが出來ない」

英一はそこに相手がゐるやうに叫むやうな顏付で首を振つた。そして仰向けに頭を長椅子の背に凭せると、そのまゝぢつと目を瞑つた……。

英一はさうして目を瞑つたまゝかなり長い間、とりとめのないことを考へ續けてゐた。彼の目には露子の顏が映り、京子の顏が映り、さうかと思ふと大貫の冷やかに笑つてゐる顏が見えた……。が、結局彼の考へてゐることは、これが幸福でなくて何だらうといつてやりたいほど樂しかつた。

『惡魔め、大貫に取り憑いておれの幸福を奪ひに來たのだ』

こんな言葉が不圖心の中で呟かれると同時に、英一はやつとわれに返つたやうに、むつくり長椅子から立ち上つた。

それから三十分の後には、英一は一人でぼんやり東京の方へ驅つてゐる京濱線の省線電車の二等室で窓越しに秋晴の澄んだ空を眺めてゐた。

日日案内 三行 一回金五十錢 被雇度 五行 一回金三十錢 十行 一回金八十錢 一週金一圓五十錢 姓名在社 十行 一回金十錢增 御申込みは電話三三〇〇番

山田流 尺八指南 初心の方歡迎す 師範 西田方山 （ヤマトホテル裏）

賣家有り カフエー向きに好的 詳細は電話三三二六番へ

讓店 今盛業中の下宿屋轉業の爲め讓る御希望の方は午前中滿日館へ御來談あれ 東五條通祝町五丁目角 電話三八〇二番 滿日館

神佛具 道具一切 造花及生花 加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三一〇八番

金銀 遺金 高價買入 東二條通り廿五 橫濱屋貨店

京染洗張專門 電話二六二〇番 にしきや 消防隊橫入

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

電話急讓 姓名在社

印刷 新京朝日通り 三友社 電話三四三八番

滿洲國政府公報取扱 東朝、大朝兩新聞社發行物一切 大阪 東京 朝日新聞販賣所 大滿蒙新聞 朝日舍 栃尾新聞舖 東一條通二二 電話二三四二番

和洋料理 カフエー モスコー 東四條通 電二七三三番

めがねの御用は 金華堂へ 吉野町二丁目 電話二六四五

紙函製造 大經路一五 長野商會 電話三四九八番

將棋教授 定跡…指手筋等、懇切指導 三段 宮本金三 詳細は電三一五九、富士町二 大吉へ

額と繪 尚御用命に依り 商宜寸借の額椽 御調製致します 品川洋行 TEL. 3062 2593 和洋衣具・室內裝飾 世帯道具・建築材料 新京日本橋通

滿洲語 速成研究員募集
一、資格 初學者
一、教材 簡易支那語會話篇
一、開講日 七月四日（申込八三日迄）
一、時間 午後七時半…九時半
一、期間 三個月半
一、研究料 六圓（三個月半分）
尙本人の學力により右の外晝夜間部共に隨時入社し得
新京東二條通四三番地 滿洲語學研究社

北鮮經由東京へ!!大阪へ!! 一敦賀ヨリ東京ヘ國際列車一
滿洲丸 雄基・淸津出帆 每六・十六・二六日（月三回）
天草丸 雄基・淸津出帆 每二・一二・二二日（月三回）
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸

派出婦 派遣婦 附添婦 會開業 御一報次第派遣致シマスカラ何卒御利用願マス 新京曙町二丁目二七 公認 松崎派遣婦會 目下派遣多忙 會員募集

夏向半衿紐類 縫糸と小間物 新荷着 京染取次ぎを初めました御用命は御電話で 半衿 帶メ 縫糸 紐類 小間物 新京吉野町二 カ商店 電話三〇九二番

哥澤稽古所 時間の御都合は御便宜計ります 新京吉野町一丁目五番地 精養軒横入右側 哥澤芝壽保

お知らせ
ザアーットタ立に洗ひ立てた樣な すがすがしいホールが出來上りました
樣々とお目にかけ度いもの 意味深く味はつて頂き度いもの 相當揃つた自信です 何卒お出掛け下さいまし
26日開店 カフエー ミツワ 三笠町三丁目（長春座裏）

蘇聯の逆襲抗議に 我が外務當局反駁
速に適當な回答と措置を要求
邦人漁夫殺害事件

【東京二十七日發國通】カムチヤツカ、クロノツキー岬の邦人漁夫虐殺事件に關する帝國政府の抗議に對し、駐日蘇聯大使ユレニフ氏は廿六日外務省に重光次官を訪問し、邦人漁夫殺害事件に關し、既報の如き內容で逆襲的抗議に出でたが重光次官は、次の如く蘇聯側に反駁し、蘇聯側の反省を求めた

本事件に對する蘇聯側の態度は全く本末顚倒してゐるものである富美丸の漁夫三名は蘇聯官憲によつて殺害されたものだが、現場附近における日本國民の生命保護の爲派遣された驅逐艦が此の際何事も爲し得ない事は有り得ない、當然緊急措置として右漁夫の殺害が如何なる條件と、如何なる情勢の下に行はれたかを調査する必要を認め、武裝せざる乘組員を現場に派遣した結果漁夫の殺害された事情と、その證據を發見したが此の際蘇聯側の注意を促したいことは、太刀風は蘇聯の領土內には入つてゐないことである、然るに本件に對する蘇聯側の態度は、甚だ遺憾とする所にして、事件發生以來二週間經過するも何等の回答無く、我方より情報提供方を要求せるにも拘らず、何等誠意ある態度を示してゐない、殊に事件善後策を講ずる爲現場に派遣せる野口書記生に對しても蘇聯側政府が明に便宜提供方を約束せるにも拘らず、現地の蘇聯官憲は、言を左右に託して便宜を計らずにゐる

よつて帝國政府は、此際速かに蘇聯政府の適當なる回答と措置を講ぜられんことを切望するものである云々

我海軍當局の 斷乎たる反駁
曖昧なる處置には實力で爭ふ

【東京廿七日發國通】邦人漁夫殺害に關聯して、我驅逐艦太刀風が蘇聯領土內に侵入せりとの、蘇聯の抗議に對し我海軍當局は次の如く反駁した

蘇官憲より砲擊を受けた富美丸より、救助を求められた太刀風は、直ちに現場に急行し、陸岸附近の犯人を搜索、死体を收容し、證據物件數種を押收したるは事實なるも、不法射擊を蒙つた以上警備艦として急速に行動して證據物件の押收及び死体を收容するは、當然の任務であり、全くの自衛行動である、若し蘇聯側が本事件の解決を曖昧にするなら、海軍としては、警備船を增派し實力を以て我漁船を保護せねばならぬ

兵團長會議 第二日

兵團長會議第二日目の二十八日は午前十一時から各兵團長は執政府を訪れ候見室に於て松木中將、西中將廣瀨中將、安藤中將、宇佐美少將の順にて中島翻譯官の通譯によつて執政に謁見し正午からは軍司令官、參謀長、幕僚、隨行者の一部を加へ執政府內の勤民樓に於て執政臨席午餐會が催された

停戰後の状況を 陸相閣議で報告

【東京二十七日發國通】荒木陸相は二十七日の閣議で停戰後の状況につき左の如く述べた

日支停戰交涉の實施に關しては大体に於て支那側が停戰協定の精神を尊重して行動してゐるから我軍としても豫定の通り軍の撤收を進めつゝある、尙ほ支那側では今回上海、モスクワ、ベルリン間に定期航空路を開設することになつた模樣である

北平交替兵 二十八日凱旋

【北平二十八日發國通】昨年一月入平以來在留邦人の安全保護の重任を全うした光武、松尾兩〇隊は新來の部隊と交替、本二十八日午前十時多數官民の見送りを受け車站發凱旋の途についた

北鐵買收交涉 本格的商議日取未定
蘇聯側極めて愼重な態度

【東京廿七日發國通】北滿鐵路買收交涉に關する二十七日の商議は、正式會議を休み主に蘇聯側のカグロフスキー氏滿洲國側の大橋外交次長との間に、非公式に連絡折衝を續けつゝあり、滿洲國は二十八日午後三時半より第一回の本格的會議開催方を希望し蘇聯側に申出でたるも、蘇聯側は極めて愼重な態度を持しこれに對する回答を與へてゐないが蘇聯側としては、目下のところ、第一回會合の經過に基き滿洲國側の意向を的確に知らんとし、代表部は夫々手わけをして情報の蒐集に奔走しつゝあり、それが一段落した上でなければ、蘇聯側から同鐵道の賣却に對する價格並びに條件等の具体案を提示することはあるまいと見られてゐる

實質的交涉 廿八日午後三時から

【東京廿八日發國通】北鐵讓渡交涉の蘇聯側委員は蘇國總領事ゼレズニヤコフ氏を加へて廿七日午後三時から四時まで會議進行に關し打合せを行つた結果、二十八日午後三時から滿蘇兩國代表が外務次官舍で第二回會議を開き愈々實質的討議に入る事となつた蘇側の側面的運動は今や猛烈でスピルワーチツク氏の如き二十七日は午前十時から正午まで重光次官と懇談午後は三時半から東鄉歐米局長を訪ひ個別的折衝を行つた

突如總領事館向け 何者かゞ射擊
犯人未だ逮捕されず

二十八日午前二時ごろ新京總領事館東角警察官舍側から夢を破つて二發の銃聲があつた同警察署では銃聲を耳にするや宿直の今江主任は係員を配置するとともに全署員の非常召集を行ひ嚴重警戒をなし犯人搜査に努めたが逮捕するにいたらなかつた

諸星部隊に歸る

二日に亘つて行はれた兵團長會議も二十八日を以て終了したが松木中將、西中將、坂本中將、井上中將及服部〇團長は二十九日午前九時發鳩號にて出發南行、廣瀨中將は廿八日午前八時半發吉林に向ひ安藤中將は廿九日午前八時四十分發にてハルビンへ向ひ宇佐美騎兵集團長は三十日午後四時半發南行する

ハルビンの 惡黨三人組
逆產の皮革を詐取

【ハルビン廿七日發國通】身—軍屬であり乍ら軍の名を騙り—逆產物品を横領せる三人共謀の不良邦人の醜惡な姿はハルピン埠頭區憲兵隊の活躍に依り此程漸く白日下に曝露された即ち本年一月ハルピン特務機關は濱江縣厚生公司に對し其所有に掛る逆產たる多量の皮革を押收すべく申渡したがその件がその儘となつてゐる事實を聞き込んだ駐哈某隊附通譯行成秀吉(四六)は獸醫小森倉松(三六)及び山林某と稱する森善一(四九)の二人と語らひ去る四月十五日三人打揃つて前記逆產保管者葉化亭方に至り「特務機關から來たものだ、逆產を押收するから品物を出せ」と云ひ皮革全部を詐取し其處分に當つた小森は右の皮革全部を哈太洋九千六百四十圓で滿人に賣却し、濡手に粟でころがり込んだ金を三人で山分けしてゐたものである

銀行預金利下
七月一日より實施 二十八日決定の筈

【東京廿八日發國通】市中銀行の預金利下げは本年に入るや其機運濃厚となり一時頗る切迫した情勢となつたにも拘らず此の一月東西銀行間の意見が一致を缺いてゐる事明瞭となり、機運全く停頓し預金利下げ打切りの聲明を見るに至つた、然し其後も預金利下げの曙光を思はせる樣な情勢も多少あり實現は八月頃からと見られてゐたが、此間にも機運は刻々と釀成され、東西銀行間の意見は遂に一致するに至り、こゝに急轉直下實現の運びとなつた

而して二十八日午後一時丸の內銀行集會所の東京預金利子協定組合臨時幹事會、二十九日同總會を開催して、預金利下げを決定し、七月一日より實施することになつた

利下げの程度は甲乙丙種とも定期預金五厘下げ、當座預金を除く日步計算の物は一厘下げだが、當座預金は甲種二厘以下、乙種三厘以下と据置きに大体決定した

新利率と 舊利率の比較

	新利率	舊利率
甲種定期預金	三分七厘	四分二厘
甲種當座預金	二厘	二厘
甲種特別當座預金	六厘	七厘
甲種通知預金	七厘	八厘
乙種定期預金	四分二厘	四分七厘
乙種當座預金	三厘	三厘
乙種特別當座預金	八厘	九厘
乙種通知預金	八厘	九厘

七月以後は
低率預金時代か

【東京二十八日發國通】今回の預金利率引下げは我金融市場始まつて以來の低率で、此の市中銀行の劃期的利下げにより日本銀行も公定日步の引下げを斷行すべく斯くて貯蓄銀行の利下げ、信託配當の引下げともなり七月以後は我國には低率預金時代の出現を見るものと豫想されてゐる

關東廳官制改正案 滿鐵電氣通信令
樞府に御諮詢

【東京廿七日發國通】滿洲電信電話會社設立に伴ふ關東廳の本廳官制改正案は、今日の閣議で正式に決定政府は直ちに滿鐵電氣通信令に關する勅令案と共に樞府に御諮詢の手續を執つた、兩案は明中に御下渡しある豫定で樞府では會社の設立も目睫に迫つた爲二上書記官長の手許で速かに下審査後倉富議長より七八名の審査委員を指名し、審査を附託することゝなろう

沈司令に反 對を宣言し
東北艦隊五隻 麾下を去る

【北平廿八日發國通】青島來電によれば前日沈鴻烈を暗殺せんとして捕へられ其場で射殺された馮某事件から同港に碇泊中の東北艦隊は沈司令に反抗の宣言を發して八隻の中五隻は錨を捲いて何れにか出港してしまつた原因は某艦長を罷免せんとしたに反對して毛づたものと云はれてゐる

最後の一彈
北平の灯見られる處から來た
(一) 勇士に聖戰を聽く 何應欽の膽を冷す

【奉天二十七日發國通】長城線確保の爲め北平の灯の見へる通州郊外にまで進擊し支那軍閥の心膽を寒からしめ遂に停戰の和議を結ぶに至らしめた皇軍の精銳服部部隊の勇士十五名は兵團長會議列席の爲め上京せる服部將軍に扈從し來奉したので本社は二十六日午前十時右をヤマトホテルに招待「關內聖戰を聞く會」を開催砲煙彈雨の下を馳騙した諸勇士より次の如き壯烈無比な實戰談を聽く事を得た

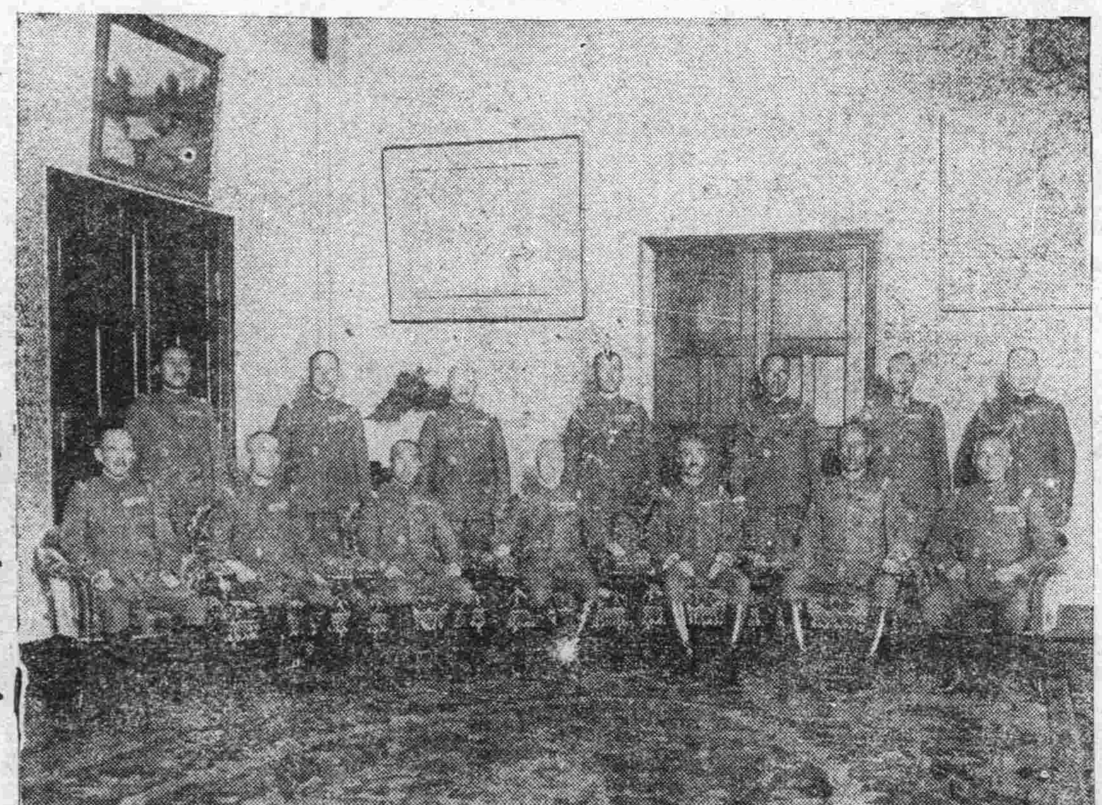
記者——北平の最短距離に進出した貴部隊の行動は全國民の注視の的であつたが當時の模樣を承りたい

山崎大尉——軍事上秘密な點もあるので全部は話せないが表面に現はれたことだけ砲兵隊の中澤軍曹に語らせる

中澤軍曹(高森砲兵隊)——五月二十二日朝前進命令に接した我部隊は步兵隊を後にし燕郊鎭を出發通州と目と鼻の地點にある土城に進出した、四圍敵とばかり思つて居たのが意外にも土民は我軍の姿を見るや大いに歡迎の意を表し「支那軍は夜明けまでここに居たが部落の家畜まで略奪して逃走した」と訴へその他敵の配備狀況まで知らせて下れた、即ち敵は前方七百米の地點に防禦工事を施して居る、通州市內に二ケ師、白河右岸に二ケ師、通州と北平の中間に一ケ師頑張つて居る等の事實が判明した、そこで我軍は土城後方に砲列を布き待機の姿勢をとつたが敵は我軍の來襲を知つてか突如砲擊を開始し、最早默すべき時に非ずと高森隊長の命令一下通州附近と白河右岸の敵集團目がけて天地も裂けよとばかりに火蓋を切つた、時正に午後一時半燒けつくような夏晴れの空に砲聲轟き物凄き光景を呈した、間もなく敵は砲火を收め後退の兆見へたが、更に猛擊を加へるべく尖銳彈を以て一萬一千米に照尺を定め(北平と通州の中間に落下する距離)擾亂射擊を加へた、後で聞けばこの砲聲は北平にまで響き停戰交涉の氣運を早めた最も記念すべきものだそうだが我々砲兵としても生涯忘れ得ぬ愉快な一彈であつた

海老軍曹(松野尾部隊)——その翌日松野尾部隊は白河右岸に攻擊を開始し難なく同地を占領したが敵は反擊の勇氣なく僅かに橋梁を燒いたのみで潰走した步兵戰としてはこれが最後であつた

記者——話は前に戾、が灤河渡河苦心談を願ひたい



諸將星 一同に會す

關東軍麾下の松木、西、廣瀨、坂本、安藤井上、宇佐美、橋本、服部、牧野の武勳赫々たる諸將星は二十七日午前十時武藤軍司令官々邸に會合、齋藤第一課長を中心に策戰用兵に關する重要協議が遂げられた(寫眞)會議終つて一同右より、前列井上獨立守備隊司令官、坂本第〇〇團長、西第〇〇團長、武藤軍司令官、松木第〇〇團長、廣瀨第〇〇團長、安藤旅順要塞司令官、後列齋藤第一課長、牧野飛行隊司令官、岡村參謀副長、小磯參謀長、橋本憲兵隊司令官、宇佐美騎兵集團長、服部混成旅團長

その日く

口 漁夫殺害事件、蘇聯に誠意ある回答なく、逆ねじ的抗議、我に實力抗爭の用意あるを知れりや

口 祭ある部隊長と會見その實戰を聞く、將兵の勇猛さを聞くに及んで日本亡びずの感を强うす

口 されどその地下に眠る人柱を思へば暗然たるあり

口 六月二十七日、雹降る、滿洲なりの感を深うす

人事往來

▲榮孟枚氏(吉林省教育廳長)二十七日午後零時三十分吉林へ
▲大角大佐(技術本部)二十七日午後四時三十分南行
▲林少佐(國道第〇隊)同上
▲川內中佐(憲兵隊豫備役)二十七日午後七時五十分來京
▲吉田大將(關東軍顧問)二十八日午前九時南行
▲松木中將(第〇〇團長)二十九日午前九時奉天へ出發の豫定
▲西中將(第〇〇團長)同上
▲廣瀨中將(第〇〇團長)二十九日午前八時三十分吉林へ出發の豫定
▲坂本中將(第〇〇團長)二十九日午前九時奉天へ出發の豫定
▲安藤中將(旅順要塞司令官)二十九日午前九時大連へ出發の豫定
▲井上中將(獨立守備隊司令官)二十九日午前九時奉天へ出發の豫定
▲宇佐美少將(〇兵〇團長)二十九日午後四時三十分奉天へ出發の豫定
▲服部少將(混成第〇〇〇團長)二十九日午前九時奉天へ出發の豫定
▲清水土木課長(國都建設局)二十八日午前八時來京國都ホテルへ

團体

▲咸鏡北道水產部視察團十四名二十八日午前八時四十分ハルビンへ

經濟欄

各地市場

▲上海紐育向
資直 三七弗八分三
買直 三七弗二分一

▲大連金鈔票
現物 一〇四三〇〇 一〇三九〇〇
近期 寄付 一〇四三三〇〇 / 步値 一〇四三三五〇 / 引止 一〇四四〇〇 / 高値 一〇四三三〇 / 安値 一〇四二五〇 / 出高 一〇四二五〇 ……

▲大坂株式
大株 新 一六〇〇 一二六〇〇
大紡 新 一三〇六〇 一三三四〇
鐘紡 新 一一〇四〇 一一〇六〇

▲同短期
大株 新 一三〇四〇 一三七四〇
鐘 新 一〇八四〇 一〇七六〇
東 新 一一〇三六〇 一〇〇〇〇

▲大連株式
株 二九三〇 二四五〇

▲大坂三品
品 …… ……
新 …… ……
五豆錢 紗 …… ……

當限 一〇八二〇 一〇四九〇
七月限 一〇七五〇 一〇三六〇
八月限 一〇六七〇 一〇三八〇
九月限 一〇五六〇 一〇三九〇
十一月限 一〇五四〇 一一〇九〇
先限 一〇四四〇 一〇〇一〇

▲大阪棉花
當限 三九一〇 三九六〇
先限 六一七〇 六二四〇

▲大阪期米
當限 三三九七 三三八七
中限 三三六一 三三五五
先限 三四一〇 三三九九

新京市況

大豆 現物 [illegible] 二車 [illegible]
高粱 出來高 [illegible] 二車
小豆 出來高 [illegible] 一車

▲錢鈔(現物)
鈔票對金票 [illegible]
現大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
國幣對鈔票 [illegible]

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一九片一六分一
同 遠限 一九片一六分三
紐育銀塊 三六仙四分一
孟買銀塊 五七留比八分一
米英爲替 四弗六仙八分三
米日爲替 二六弗八七仙
米支爲替 二七弗三仙
スチール株 四九弗八分七
アナゴンダ株 二六弗八分七

▲綿花
米 現物 十仙四
七月限 十仙三
十月限 十仙五六
十二月限 十仙七一
一月限 十仙九
三月限 十一仙
五月限 十一仙七

●印 棉
ブローチ 三八留比
ベンゴール 三〇留比
オームラ 一四留比

▲上海票金
昨止 八八〇〇
高値 八八〇〇
安値 八九五〇
本寄 八八〇〇
步値 八八〇〇

大日本相撲擧行
横綱 玉錦
大關 清水川
大關 武藏山
大關 沖ツ海
大一行 三百名
場所 新京神社境內
期日 七月一日—七月三日 三日間(雨天順延)
自動電話ノ設備アリ
入場料
正面棧敷 四人詰一桝 金十八圓
特等 御一人 金四圓
一等 同 金三圓五十錢
二等 同 金二圓五十錢
三等 同 金一圓五十錢
小供 同 金五十錢均一
右ノ通リ
尙割引前賣券ハ市內各床屋、湯屋其他ニテ發賣致シ居リ候
勸進元 新京聖德會 電話三八一〇番

森永ミルクチヨコレート
よい菓子を安心して買へる店

涙ぐましき

勇士の奮戰を各部隊長に聞く

入院兵の「第一線に出たいのであります」に 隊長の目頭白む

滿洲事變以來東奔西走或は北滿に、熱河に、或は關内に、馬を進めて砲煙彈雨の中に馳驅した關東軍管下各兵團長松木、西、坂本、廣瀨、安藤各中將、宇佐美、橋本、服部各少將並びに牧野大佐の武勳赫々たる諸將星は熱河並に灤東作戰一段落と共に廿七、八兩日初めて一堂に會して部隊長會議が開催されたが、新京日本新聞記者團は右將星と親しく一堂に會見する機會を得た、即ち部隊長會議第一日終了と共に午後四時記者團は會議の席に招ぜられ武藤軍司令官、小磯參謀長、岡村參謀副長臨席の下に右各部隊長との座談會は開始され先づ記者團代表より事變以來國防の第一線に立つて日本の威信を中外に發輝せるに至つた關東軍管下將兵の勞苦に對し感謝の意を述べたるに對し、各部隊長を代表して松木〇團長より皇軍將兵が戰場に遺憾なく威力を發輝し得たるは一に國民の物質的並びに精神的後援の賜であり此點に關し將兵一同等しく感謝の念に滿たされて居る次第である、滿蒙の現狀は尚ほ幾多の難關が横はり日暮れて道遠しの感がある、將兵一同益々努力勉勵國民の期待に副はん事を期する次第であるから新聞通信を通じて我々將兵の意のある處を銃後の國民に傳へて戴き度い旨の挨拶あり記者團の一問一答に入つた

記者　關内作戰に參加された坂本部隊より銃後の後援に就ての御感想を承りたい

坂本第〇〇團長　擧試一致熱誠なる物質的成は無形の後援に對し將兵一同感激にむせんでゐる、之に依り軍人の覺悟を愈々堅くする次第である、此の感激をどうか諸君を通じて國民によろしくお傳へ下さい

記者　西閣下に御伺ひ致します、閣下の部隊は今次の戰闘で一番激戰を演ぜられ從つて最も多く犧牲者を出された樣ですが、之に對する御感想を

西第〇〇團長　今次の戰闘で多數の死傷者を出したことは誠に痛惜の思ひで居るが私の最も感激した事は將兵は傷ついても尚戰闘に參加する事を只管希望し負傷を上官に報告すれば戰場から後送されるので傷を隱して戰闘に參加する者が多かつた次第で、此將兵の意氣には涙させられるものがある、遼陽の衛戍病院に私が傷病兵を見舞つた際に片膝關節を射抜かれた步兵〇〇隊の吉光軍曹が涙ぐんで居るので其理由を問ふと『私は第一線に出度いのであります戰闘に參加出來ぬのが實に殘念です』と答へたのには感激させられた斯ういふ例は澤山あるのですが今最近の一例を擧げたに過ぎません

記者　松木閣下より北滿の兵匪の消長に就て承りたい

松木第〇〇團長　北滿の匪賊の原動力となつてゐた馬占山、蘇炳文が昨年コロンバイルより逃亡を最後として大体に於て政治的反滿匪賊は一掃され、殘部は松花江を渡つて熱河に逃入した、大体、熱河作戰の結果、匪賊の頭目といふ如きものは影を沒し、現在は小馬賊ともいふべきものが幾分殘つてゐるが、之を一人も殘らず退治るには相當の年限を要する譯で、まあ今のところ、治安は大体に於て維持されてゐるものと思ふ

記者　騎兵は馬に依つて行動する以上餘計物資の缺乏に惱まされた事と思ふ、馬の勞苦勇敢さと云ふものに就いては國民も相當の關心と感謝の意を有して居りますが、軍馬から國民へと云ふやうな事に就き宇佐美閣下のお話を承り度い

宇佐美騎兵〇團長　軍馬が兵器の重大なる一要素なる事は申すまでもないが殊に滿洲に於ては地勢や交通の關係上馬に頼るところが非常に多く、軍馬の勞苦は非常なもので人馬一体且兵器と云ふ事は勿論將兵の馬に對する愛撫の情は戰場に於ては更に深い此可憐な馬に對しては何とかして愛護の道を考へてやりたい、

記者　服部々隊の美談は感激して拜聽しましたが服部閣下直接に就てお話し下さい

服部混成〇團長　私の部隊は東邊道討伐以來戰闘約二百回各戰闘に必ず一度や二度は猛烈なる白兵戰を目撃して居りますが熱河作戰は最も激烈を極めた灤河渡河の第二日五月十四日龍井開と云ふ處の西南高地を攻撃した時です、敵は其の高地に約二ヶ月も防禦設備を施し我軍を迎へ撃たんと待構へて居り高地の手前には河がある、私は河を距てて見て居ると眞先に突撃を開始したのは正面の宮本部隊で喊聲を擧げて山を馳上つてゐるのが手に取るやうに見えるやがて敵に接近して手榴彈の投合ひ果ては敵兵との白兵戰で敵の青龍刀が光ると我兵の銃劍は閃いて既に敵は倒る實に勇壯極りないものであつた又兵の上官を護る念の強い事は戰場にては如實に示され將校危險と見ると身を挺して之を護り遂に斃れた兵の多かつた事は武士道の極致で實に感激の外はない

記者　ハルピンに駐屯される廣瀨閣下に蘇聯側との關係並びに北鐵從業員の對日感情に就ておたずね致し度い

廣瀨第〇〇團長　昨年哈爾賓入城當時は蘇聯側は疑心暗鬼を抱いて兵の輸送等も思ふに委せず、非常に不便を感じたが、其後蘇聯出先官憲と極力折衝の機會を作り、互に胸襟を開いて意志の疎通を圖つた結果、蘇聯出先官憲の感情は、昨年秋頃より著しく緩和され、東部線匪賊討伐の際にも一つの紛議も起きなかつた事でも、之の間の事情は判ると思ふ

北鐵從業員に就ても、一部には日本側に不滿を有するものもないとは云へぬが、大体に於て何等意に介すべきものはない兩國中央政府の意志の那邊にあるかは判らぬが現場に於ては、將來とも何等間違ひ等の出來る憂ひはない

記者　牧野飛行隊長より今次の作戰に於ける飛行隊の活動に就て御伺ひ致し度い

牧野飛行隊司令　熱河作戰に於ける飛行時間を通算すると各隊合計八千四百時間、距離にすると地球の周圍を卅五回半廻つた、ここになる、其他航空輸送隊の活躍を加へると尚相當の數が出ると思ふ油の輸送には非常な苦心をしたが、地上部隊との協力で其能力を充分に發揮し得たことは喜ばしい、爆撃の目標を的確にするため相當低空飛行をやる關係上敵彈の命中したもの合計四十五、六機に達し中には一機で十六發喰つた者もあるが、幸ひ大した事はなく搭乘者に命中したのは二二發しかなく之とても戰死せるものは一人もない最後に作戰に參加した飛行機の三分の一は國民熱誠の結晶たる愛國號で是等は一機と雖も缺けたものもなく全部頗る健全に任務を達成古色蒼然たる機体を以て今尚今後の任務を待つてゐる事を國民にお傳へ願ひたい

斯くて記者團の質問を打切り小磯參謀長の挨拶ありて午後五時過ぎ此の意義ある會見を終了した

降りも降つたり 坪あたり一石三斗

雹もまじる十年來の豪雨 農作物も相當被害

二十七日午後三時二十分から降りかけた降雨は五時十八分頃から約三十分間に亘つて近頃に珍らしい豪雨となり、七時四十五分漸く降りやんだが新京測候所について聞くと同日の降雨量坪當り七十三ミリ（一石三斗）で大正七年の八十ミリが今までの最高記錄で今回はそれ以來のレコードなり、六月に入つて毎日のやうに降りつゞいた降雨總量と同じ程度の大雨であつた

なほ午後五時半から十五分に亘つて新京附近一帶に大豆大の降雹があり通行人を驚かしたが農作物にも相當被害があるもやうである

水源地の大故障で 全市忽ち斷水

大水が出ても飲み水に事缺ぐ 復舊は夕刻近くか

水飢饉の新京に待望の水源地工事が漸く進捗して懸案の新井戸一つも完成したと一息つく間もなく二十七日午後五時から降りかけた豪のためまたも「全市」内一帶に亘つて斷水の憂き目を見ることゝなつた、今度のは第四水源地集水井戸および第一水源地の吸水管の故障から昨夜來濁水が滔々と入り込んだため遂に送水不能の余儀なきに至り滿鐵水道係では施工者に命じて大急ぎで全力をあげて復舊工事に着手してゐるも今のところ、何時頃から復舊するか目算立たず恐らく同日「夕刻」までかゝるのではないかと見られてゐる、お陰で全市内は到るところ豪雨のため氾濫しながら肝腎の飲み水が一滴もないといふ皮肉な現象を來たしてゐる

五時に復舊す

別項の通り二十七日夕刻の近年稀な豪雨に襲はれ各水源地に被害あり就中給水管が殺中の第一水源地の一部及び第四號、第三水源地の被害甚大だつたゝめ當局は不眠不休で復舊に努めた結果、二十八日午後三時に終りポンプを運轉し始めたから五時頃には市内に送水されることゝなつたが突發事故とは云へ無斷で給水を停めたことに就いて係員は市民に對し申譯ないと恐縮して居た

蓮池の氾濫で 魚類が逃げ出す

それを喜ぶ魚獲り合戰 夏のナンセンス

二十七日夕刻の豪雨襲來で到るところ氾濫して被害を受けたところも尠くないが、西公園の蓮池は忽ち增水して水が堤防上に溢れ、それがため鯉その他多數の魚類が押し流され二十八日早朝地方事務所から山内係長まで出かけて西公園事務所が全力をあげて應急處置を講ずるやら一時大騷ぎを演じて魚類約十貫ばかりを取押へ再び池に取り戻したほどで、お陰でこの流れを待ち受けて大喜びで魚拾ひ合戰さへ始まつたなど夏らしいナンセンスである

紅卍會 撤兵區域視察

世界紅卍會では豫て關内支那軍の撤兵區域及密雲、玉田、豐潤一帶の被害民救濟の爲め役員を派遣視察せしむべく軍司令部の許可を得、七月上旬頃賀喜果、劉承中、王直愼、宮義礎、李春楊の各役員は現地へ赴く豫定である

小火　二十八日午前二時ごろ市内東三條通遼東洋服店の店員寢室から出火し直に消止め大事にいたらなかつた

汽車の飲料水に 氷を入れる

滿鐵の旅客サービス

滿鐵では團體、旅行者殺到期に際し、旅客のサービスに爲遺漏なきを期してゐるがその一手段として灼熱の夏期を控へ、七月一日より九月十五日まで南滿本線及安奉線全線に亘り飲料水に氷の溶解したものを用ひることゝなつた、新京驛から毎日二十九キログラムの氷を各列車の飲料水に供することゝなつてゐる

拐帶店員

市內祝町二丁目十二番地四十三番合永肉商店店員齋志文（二四）は賣掛金八十圓を横領拐帶逃走した

滿人農夫の死体

二十八日午前十時ごろ市内朝日通派出所と六條橋との中間朝日通七番地々上に六十歳前後の滿人百姓風の死体が横はつてゐるを派出所員が發見目下檢視中であるが、馬車から顚落したのを馬車夫が氣づかずそのまゝ進行本人は事ぎれたものとみられてゐる

野村社會主事宅に 物騷なる怪盗

拳銃や彈丸多數を竊取して 何れにか姿を消す

二十七日午前八時から午後七時までの間に新京羽衣町一丁目へ號滿鐵宿舍滿鐵社會主事野村英理氏方に一家不在中、便所の汲取口から「怪盗」が忍入り、同宅中の滿洲國執政府侍從武官陸軍少將憲原氏所有のモーゼル一號およびコルトの拳銃二挺、彈丸二百五十發、その他時價三、四百圓を竊取されてゐるのを午後七時ごろ外出先から歸つた野村氏が發見し驚いて新京署に屆け出でた、同家は夫人始め家族は目下赴運中でその留守中折柄の豪雨を見計つて忍入つたものの如く家中は到るところ掻き廻されてゐるが肝腎の貴重品その他早速金になるやうなものには「一切」眼もくれず拳銃彈丸などをサツクを取除き中味だけを竊取してゐるなど全くの怪盗であり、内部の事情に通じてゐるものゝ仕業らしく當局では被害が被害だけに重大視し直に犯人の搜査に着手した

寶庫開發の 七里班大黑河に安着

去る六月十二日北滿の寶庫大黑河方面の金礦開發の大任を擔ひて隊長七里班長以下卅七名は勇ましく哈爾賓埠頭を出發十五日にはチャムスを出帆して以來、通信連絡の方法なく萬遺憾なき手配をしてゐたがなほ一沫の不安を抱かれてゐた處廿三日無事黑河に到着したとの吉報に接した、これで同方面の金礦開發の端緒が開かれたもので滿洲國の將來へ輝しい光明を投げかけたこの大調査團の黑龍江湖航は事變以來始めてにして調査班の安着はソビエット側の滿洲國に對する好意を意味するものでソビエットと滿洲國に好影響を及す事は見逃せぬ事である

吉敦線に 匪賊

吉敦線老爺嶺附近に蟠居し農民を苦しめてゐた匪賊の一團は數日前から影を消したが二十六日吉海線海龍驛旅客列車が午前十一時煙筒山驛前に差懸つた際犬釘が多數取抜かれてゐるを發見列車は急停車をなしたため脱線顚覆を免かれた、應急修理で列車は二時間遲延で吉林に到着した、目下煙突山附近に匪賊三百余名が蟠居してゐるがこれ等はいづれも老爺嶺附近から移動して來たものである

新京百貨店の紛爭 遂に組合側負け

板圍ひを撤去ペンキもはがす

旣報、新京百貨店の紛爭に關し新京署では組合側の態度が過つてゐることを認め直ちに板圍ひの撤去を命じ更に表ショウウヰンドーの塗り潰したペンキも家主齋洋行の承諾すらなく組合が勝手に塗つたもので百貨店としてショウウヰンドーを塗る時あるべき筈なくこれまたはぎとらせることとした、しかも組合側として四五名のものが勝手にやつたもので組合員中にすら快く思つてゐないものもあり或はこれを機會に組合が決裂するやも知れぬ形勢である

大相撲 初日おくる

南方豪雨のため東京大相撲が順延し新京の興行も二日三日兩日にくりのべられた

滿洲國巡警を毆つて 新京署に御用

市内富士町三丁目十番地高橋勝治方前科三犯植木愛二郎（二六）は二十六日午後二時三十分ごろ日本橋新京百貨店前で滿洲國大經路警察署巡警鄭榮氏（二八）を所持のステツキで右膝を毆打し、治療十日の傷害を負はし新京署員に檢擧された

けふの銀相場

鈔票對金票	一〇三五〇
現大洋對金票	九九五〇
國幣對金票	九九九〇
國幣對鈔票	九五四〇

開業御披露

弊湯儀永らく休業皆樣に御迷惑を掛けましたが愈々改築落成廿六日より開業致します何卒舊に倍し御愛顧賜り度御挨拶に代へ御披露申上候

富士町二丁目　美久仁湯　主人敬白

◎大浪曲名人競演◎

當る廿八日より一日間　午後六時三十分開演

先づ在來の巡演團と御聽き競べを乞ふ！華やかなりし頃の看板を實物にして大宣傳を加へるにあらず眞の實力者が歩調を合せての大競演なり見よ浪界の巨頭、如雲あり友忠あり關東派隨一の名調子と稱へられ今賣出しの忠衛あり、聽け！此の競演を

木村友忠　桃中軒如雲　木村忠衛

木村忠吉　桃中軒如風　敷島小大藏　木村正かり　桃中軒小雲

破格入場料　特別席一圓五十錢　大衆席一圓　軍人學生六十錢　小人三十錢

市内各所に割引券發賣中御利用を乞ふ　◎御婦人は特に今回に限り半額◎

長春座

謝火災御見舞

昨夜火災の際は深夜にも係ず早速お馳付御力添い被下誠に有難く感謝致します御近隣其他皆樣に騷せ申何ともお詫の申上樣も無混雜の際とて尊名お伺ひ洩れ等之有る可と存まして玆に取敢ず以紙上厚く御禮申上ます

昭和八年六月二十八日　吉野町四丁目六號　興華池　孫叙九　敬白

不要品競賣廣告

一、乾電池外六十六件
二、下見　大同二年七月四日　自午前九時至午後三時
三、入札　大同二年七月五日　午前十一時

詳細ハ當局用度課ニ付キ承合ノ事

大同二年六月二十七日　吉長吉敦鐵路局

三喚屋事小澤ムナ儀病氣の處養生相不叶本日午前三時死去致候條以紙上不敢取御通知申上候

追而來る廿九日午後一時半自宅出棺午後二時曙町大正寺に於て告別式相營可申候

六月二十八日

男　赤塚幸一
小澤正司
親族總代　西川田鶴吉
島善吉
齊藤定一
友人總代　山崎宇一
柳澤喜重
新京飲食店組合總代　婦人會總代　町内總代
阿曾市太郎
島名福十郎

幕末異聞 愛慾火箭（九十七）

（禁上演上映）　作 瀧川駿　畫 村瀬洗舟

彼の喜三（六）

大びけの柝頭が響くと、廓のざわめきは打水した跡のやうにひつそりと沈んだ。

突然、二階のお職花魁千鳥の部屋で泣き叫ぶやうな事がしたと思ふと、千鳥が二階の階段から轉げ落ちて來た。

立兵庫の髷が崩れて、襦袢一枚もしどろに……。

『どうしたのだい？』

遣手婆が、駈けつけて訊いた。

『わしらあんな客を取るのは、やアだよう』

泣き叫ぶ。

『そんな勝手な眞似はさせないよ――どんな客だらうと人間でさへありさへすりや證文通り客を取るのに文句はなからう？』

『だつてあんな客を抱いて寢るのはやアだよう。人間ぢやないんだもの……』

『人間ぢやない？ そんな馬鹿な！ 久さん』

遣手婆は久三を呼んだ。久三は湯槽に浸つて、好きな経文の一節を演つてゐた。

『何だい？』

風呂の中から、醒り湯で身體を洗ひながら久三が應へた。

『今夜の客は、人間ぢやないつて千鳥さんが言ふがほんとかい』

こんどは久三に喰つてかゝるらしい權幕。

『そんな馬鹿な事があるものかい。歴としたお侍さまだよ』

この時だつた二階から白刄を提げた儘、喜三が降りて來た。

道に鼻息の荒い遣手婆も、白刄を見て逃げ込んだ。

根が二タ月と見られぬ醜男が怒りに狂つた顔。いや話の外凄い顔だつた。

『拙者に恥辱を與へ居つた、にツくき女郎、たゞ一討に致して呉れる』

何かしおやないらしい――女共はひい／＼と泣き叫び乍ら逃げ惑ふ。

廊下の騒ぎに、久三は褌一つで湯殿から飛び出した。

『一寸、一寸待つてお呉んなせえ』

金子の背後から久三は呼んだ。ふと振り返つた金子の顔を見て久三が驚いた。

『うえ』

逃げ出さんばかりの、へつぴり腰。

『金子様、今晩の事はわつしにお任せなすつて、決してお顔を潰すやうな事はいたしやせん……仲どん』

久三が奥に向つて聲をかけた。仲どんと呼ばれた女が、可愛らしい返事をして現はれた。

聲と顔とは正反對、こんな醜女からどうしてこんな聲が出るかと思ふ程の醜女。

飯盛女郎が務まらないと言ふ代物なので、これこそ人間だか獸だか解らない。

『お前さん、今晩一晩客を取つて呉んないか？』

斯う久三に言はれて、醜女の仲どん渋りに頷いて、二つ返事で引き受けた。

『金子様、詳しい事は明日、ゆつくりお話し致しますから、今晩はこの女を可愛がつてやつてお呉んなせい』

斯う久三に言はれると、金子は自分の身體を考へて、不性不精に承知をした。と言ふのはあの顔で別嬪を抱いて寢ると言ふのが間違つてら、と言はれるのが怖かつたのであつた。

その夜はそれで事なく夜があけた

朝未い頃、永田樓の暖簾を潜つた、宗十郎頭巾の男。金子喜三郎は例の無精袖をした儘、お濠について半藏門を左へ廻つた。

考へてゐた。今久三から言はれた事を考へ乍ら歩いてゐた。

と、立ち止まつた處。そこは湯島の聖堂の下の懸濠。俗に言ふ[illegible]達の泣濠だつた。丁度その下に[illegible]から漕いで來た猪牙が

（暦）六月廿九日 木曜 丙寅 大安 破 角宿　閏月五月廿七日

●一白の人　歩調を揃へて一家協力し事に當れば幸多し　辰さ未さ寅が吉

●二黒の人　腕の續くかぎり力の及ぶ限り働きて効あり　丁さ辛さ戌が吉

●三碧の人　意志堅固に精根を審して活動せば平運たり　未さ坤さ申が吉

●四緑の人　堪忍の二字を守れば平靜を保ち得る日なり　未さ申さ壬が吉

●五黄の人　些細の事に氣を痛めて大事に手落の兆あり　庚さ戌さ亥が吉

●六白の人　多少の延滯はあれども落膽せず進めば吉し　庚さ戌さ亥が吉

●七赤の人　輕々しく行動すれば破滅の基となる危險日　甲さ丁ゝ亥が吉

●八白の人　運氣最良の日意の趣く所に手を伸ばすべし　丁さ戌さ寅が吉

●九紫の人　苦勞は免れ得ぬ不安の日自重するがよろし　乙さ庚さ亥が吉　丙さ丁さ戌が吉

大阪商船 出帆

門司、神戸（大阪）行

×一等船客御斷り、神戸直航（午前十時大連出帆）

ばいかる丸　六月廿九日

×しあとる丸　六月三十日

亞米利加丸　七月一日

うらる丸　七月三日

はるびん丸　七月五日

×たこま丸　七月六日

香港丸　七月七日

うすりい丸　七月九日

一切符發賣所

滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

専屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番

新京出張所電話二三一六番

滿洲銀行

開催日　六月二十三日（金）　六月二十四日（土）　六月二十五日（日）　六月三十日（金）　七月一日（土）　七月二日（日）　毎日午前十時開始　雨天順延

臨時大競馬

於星ケ浦競馬場

旅順　金州　甘井子　常盤橋　より星が浦競馬場まで乘合自動車の割引あり

勝馬投票券　單勝式　複勝式　各金五圓　貳拾圓

景品附入場券　金壹圓（毎日各競走毎に發賣）

社團法人 大連競馬倶樂部　電話三二五三番

無回轉アイスクリーム速製器　（専賣）

優良品は無限の勝者

待望の動力不用

無回轉アイスクリーム器

●本器は、モーターや、手廻しをする必要がありません

●氷、鹽が半分で濟みます

●音響が絶對ありません

●キメコマカク味が良い

●追足しは自由です

●製品保存一晝夜

本器獨特製品日の丸アイス

定價　家庭用A號 十二圓　一號 四十圓　營業用二號 十九圓

先納入なる主　陸軍省　海軍省　各製氷會社　滿鐵消費組合　各氷問屋

神戸驛前（電話元町八六）

製造發賣元　朝日商會

新京、吉林、公主嶺、四平街、范家屯、郭家店　總代理店

清酒、醬油、味噌　食料品雜貨　陸軍御用　淺野支店　新京東二條通十七　電話二二六八　振替口座大連五二三六

公主嶺販賣所　榮商店　公主嶺朝日通　電話四三番

四平街販賣所　淺野支店　四平街中央大街　電話五〇三番

蟲匪の討伐……!!!　一擧に殲滅……!!

カモ井のキリメツ　人畜無害　強力殺蟲劑

カモ井ハイトリ紙姉妹品

蚤、蚊、ノミ、シラミ、南京蟲、油蟲、羽蟻等に

代理店　新京日本橋通　福田商店　電話二九八〇番

現況住宅難緩和の爲め安全確實叮嚀をモツトーに

新京唯一の御相談所開設

官許　土地、家屋、電話、賣買

並に　貸家空室周旋紹介

公認……□……

御一報次第店員派遣御相談に應ず

日滿鮮人數名高給採用至急本人來談

國都建設土地拂下に御利用を乞ふ

新京入船町四丁目一番地　鮮滿洋行　店主 井上勝信　支配人 伊藤重祐

機械工具　煖房材料　水道用品　衛生陶器　油脂塗料

新京日本橋通六〇　東華洋行　電話三三五七番

海陸運輸　建築材料運搬　引越荷物

井本運送店支店

新京祝町二丁目　電話三八四三番

本店　奉天宮島町　電話二七八一番

近代的魅力の

クラブビシン

モダン女性のスピード化粧に

モダン白粉クラブビシンあり

白粉とクリームの科學的二重奏です

歯のためには一番よいクラブ歯磨・肌アレ日ヤケどめにクラブ美身クリーム

歯科

一般治療、電氣治療科、齒列矯正科、口腔外科、小兒科、加工補綴科

拙者ハ平素、日滿人眞ノ融和ハ先ヅ口齒ヨリ始マルト感ジマシテ今般態々東京ヨリ遙々此ノ新京ニ移住シテ來マシテ齒ノ治療ヲ始メマシタカラ陸續御來院ヲ期待シマス（目下本院建築中ニ付）

新京日ノ出町二丁目二番地日出館三階十號室

新京齒科醫院假療養所

院長　正六位勲五等 日本齒科醫士　松田德一

御來吉の節はどうぞ御立寄下さい

カフエーの王座　日滿會館

吉林商埠地（八角堂）

急告

女給募集　多大ダンスの心得あるもの特に歡迎す

申込所　新京祝町二　松浦商會

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一ヶ月 金八十錢 郵稅 一ヶ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三五二三・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

千印 白米 千葉商店 精米部 電話二四二二番

北鐵讓渡交涉 大綱方針決定
大橋次長とカ極東部長會見 愈よ本格的に交涉

〔東京二十八日發國通〕北鐵讓渡交涉の滿洲側大橋外交次長とソ聯側カズロフスキー極東部長は昨日午後二時霞ケ關の次官官邸で西課長立會の下に今後の交涉方針を協議し左の通り決定、午後四時半會見を終つた

一、第二回會議は本日午後三時より次官官邸でソ滿代表間に西課長、陸軍省の村上中佐立會の下に開始される

一、今後の商議は細目的技術問題は兩國隨員で專門家小委員會を組織し、北鐵讓渡の代償價格の決定等の原則問題はその都度正式に會議し、決定する

一、商議進行に關しては大橋次長とカズロフスキー氏が幹事委員となり隨時打合せをする

北鐵會議に引續き 三國共同委員會

〔東京廿八日發國通〕北鐵會議は本日午後三時より具体的協議に入る譯であるが、右交涉の成立を機會に、懸案たる日、蘇、滿三國共同委員會案の實現を計らんとする意見が政府部內で有力化してゐる、即ち右委員會は蘇聯より提案の不可侵條約の對案として我政府より提案され、蘇、滿兩國も異議無かるべく、東京に於て北鐵會議に引續き三國交涉開始されんとするもので、之に對しては外務、陸軍でも異議無かるべく、近く外務省より陸海軍に對し右に關する外務省案の打合せを行ふべく提議するものと觀られてゐる

シムラ會商とは別に 日英民間協議會
八月中旬ロンドンで

〔東京二十八日發國通〕英國側の提唱にかかる日英民間協議會に對し、我國では去る五月二十四日民間協議會を

『開催』 日本側代表派遣の可否を協議せる結果「右に就いて協定に對し全般的に英國政府が保障すべきことを絕對的に必要條件なり」と英國政府に念を押したがその後一ケ月を經たる今日に至つても未だ英國政府から何等の回答に接せず悲觀すべき狀態にあつた、然るに先般來ロンドンにある經濟會議日本代表部顧問門野重九郎氏等が英國商務省產業部長最高顧問ユルスン氏と數次に亘る會見の結果、英國側が相當讓歩的態度を示し歩み寄りの見込みがついたので此際從來の行掛りを棄てて兎も角代表者を派遣する事が兩國の利益であると認めこの旨我關係方面に打電し來たので愈々シムラに於ける日英會商とは別個に日英民間協議會をも開催する事になり、右に對する日本側の民間代表として大日本紡績聯合會及輸出綿糸布同業會より二名乃至三名の代表者を

『派遣』 する事になつた右協議會に於ける協議の範圍は綿糸を主として印度を除く英領全般に亘り日英貿易の價格數量等の一切に及び、その開催期日は八月中旬、開催地はロンドン又はマンチエスターの何れかに決定を見る筈で代表の選任に就ては大日本紡績聯合會委員長阿部房次郎氏に一任されてゐるが委員一行の出發は大體七月頃となりアメリカ經由で同地に赴くことになる模樣である

關稅休日案 樞府を通過す
議長宛受諾の旨打電せん

〔東京二十八日發國通〕關稅休日案に關する樞府本會議は午前十時宮中東溜の間で倉富議長、平沼副議長、富井委員長以下各顧問官、二上翰長、政府側より齋藤首相以下閣僚、黑崎法制局長官等出席の上開會された 天皇陛下親臨あらせられ倉富議長開會を宣し、富井委員長は審査委員會の審査報告をなし、二三質問後可決の旨であるが、可決後倉富議長は諮詢案可決の旨を伏奏し、本案は政府に御下渡しとなり、政府ではマクドナルド經濟會議々長宛に受諾の旨打電する運びである

關稅障壁撤廢交涉を 個別的に行ふか
我當局着々準備を進む

〔ロンドン廿六日發國通〕日本代表部では會議の進行とは別に英米その他各代表と關稅問題に關する個別的直接交涉を開始する計畫を樹ててゐる旨傳へられるに至つた、則ち日本代表部は最惠國條款の無制限的適用を目標とし、英米佛獨伊其他の各國と個別的に關稅障壁撤廢の折衝をせんとする計畫で此の點に關する意向を要約すれば大体左の通り

一、經濟會議の進捗遲々たるは遺憾千萬だ、然し關稅問題に就ては會議に於ける審議よりも寧ろ關係代表部間の直接交涉による方法が遙に有効且速かに効果を舉げ得る故に、貿易上密接な關係を有する英國、米國其他數ケ國代表と、關稅問題で直接二國間の交涉を開始せんとするものである

一、但し茲暫くはル大統領の意向を體してロンドンに來るモーレーが何等か會議の議事促進のきつかけとなるが如き訓令を齎すかも知れないとの期待の下にその到着を待ち此の希望が實現されぬ場合、個別的二國交涉を英、米、獨、佛、伊及びその場合によつては其他の諸國とも行ふ

一、以上の直接交涉は經濟會議の閉會を機にロンドンで開始し、一般大綱を決定し然る後各相手國の首都にて通常の外交機關を通じ細目交涉の貫徹を期す

經濟會議の前途尚懸念さる
モ氏の齎した訓令 果して行詰りを打開するか

〔ロンドン廿七日發國通〕ル大統領の片腕と謂はれる國務次官補モーリー氏は二十七日夜ロンドンに到着した、英米、佛三國通貨安定協定が米政府の横槍で流產狀態に陷つて以來氣迷ひ狀態を續けて居た經濟會議を果してモーリー氏のポケツトに納められたル大統領の新訓令により行詰りを打開し得るか否かに依して注目されてゐるが、モーリー氏は記者團に對し「余はル大統領の意向を米代表部に通達する一種の使者」と聲明したのみで一切語らない、ル大統領の新訓令は一層國家主義的傾向が強いものだと一般に觀られ、會議の前途は尚ほ懸念されてゐる

絕對に金本位制を停止しない
佛、獨、蘭、瑞四國

〔ロンドン二十七日發國通〕フランス、オランダ、スイス並にドイツの金本位諸國代表は二十六日深更各國中央銀行代表會議を開くに決し、右決定に基き二十七日午前九時半より極秘裡に重要會議が開催された結果以上四國は絕對に金本位制を停止しないとふ意見完全に一致し、更に議長たる佛代表を說得し議長より現在金本位制を維持する諸國に金本位離脫反對の聲明を行はしむるに決した

舊協調關係復を要望
印度棉花協會が紡聯に對し

〔大阪廿六日發國通〕二十六日カラチ棉花協會より、紡績聯合會に對し、左の入電あり

當協會は、貴會の印棉不買決議に對し、當印度棉花協會理事會の決議を支持し大日本紡績聯合會が其決議を再考し、不可なる決議以前の兩者間の協調關係維持を希望す

矢野參事官を ペルー公使に起用か

〔東京廿八日發國通〕矢野參事官はアジア局長の候補と云はれてゐたが、內田外相はペルー公使に起用決意し近くアグレマンを求めるとの說がある

馮玉祥問題に手を燒いて 中央閻の調停を要望

〔北平二十八日發國通〕綏援を續けて居る馮玉祥問題は遂に閻錫山の出馬を求めなくては如何とも爲し難い窮境に在り山西出身の孔祥熙を使者として閻を說服せしめる事となつた今日まで沈默を守つてゐた閻錫山が此の中央の弱腰に對して如何なる態度に出づるかは各方面の注目するところとなつてゐる

敗殘兵の掠奪暴行を 日本軍の所爲と
黨部が苦しまぎれに逆宣傳

〔奉天二十八日發國通〕關內の日本軍撤退地域で支那官憲の警備薄に乘じ支那敗殘兵は土匪に化し、各村落の掠奪を行つてゐるが、特に昌黎附近は土匪猖獗甚しく、住民は再び日本軍の駐屯を希望してゐる有樣であるが右土匪跳梁に對し國民黨黨部では「非武裝地帶の日本軍は掠奪强姦等を盛に行ひ住民は困窮してゐる」と國民に逆宣傳をなしてゐる

亞細亞主義 運動の前衛
東亞學生聯盟結成 聲明書を東洋各大學生に發送

〔東京二十七日發國通〕亞細亞主義運動の前衛隊としての東亞學生聯盟は都下各大學生有志の參加を得て二十六日午後五時から日比谷公會堂で盛大な發會式を舉行した、永井拓相、下中彌三郎、滿川龜太郎、印度のラスビハリボース氏始め學生連交々起つて東亞問題に熱辯を振ひ、同夜決議した亞細亞諸國學生結盟に關する聲明書を東洋各國大學々生宛發送することを決定して九時過散會した

停戰協定地域で 支那兵の暴行
協定違反でないと支那紙强辯

〔北平二十八日發國通〕日支停戰協定によつて支那軍の立入禁止となつた高麗營の北方一漆家村に五十名、順義の北二里の牛欄山地方に多數の支那兵及便衣隊が出現し暴行を働きつゝありとの情報ありこれに對し今朝の華北日報は軍事分會の消息として右は事實なく又假りに事實ありとするも協定違反でないと强辯し不誠意な態度を示してゐる

河北の擾亂に 外人避暑客大連に殺到す
空前の盛況を極む

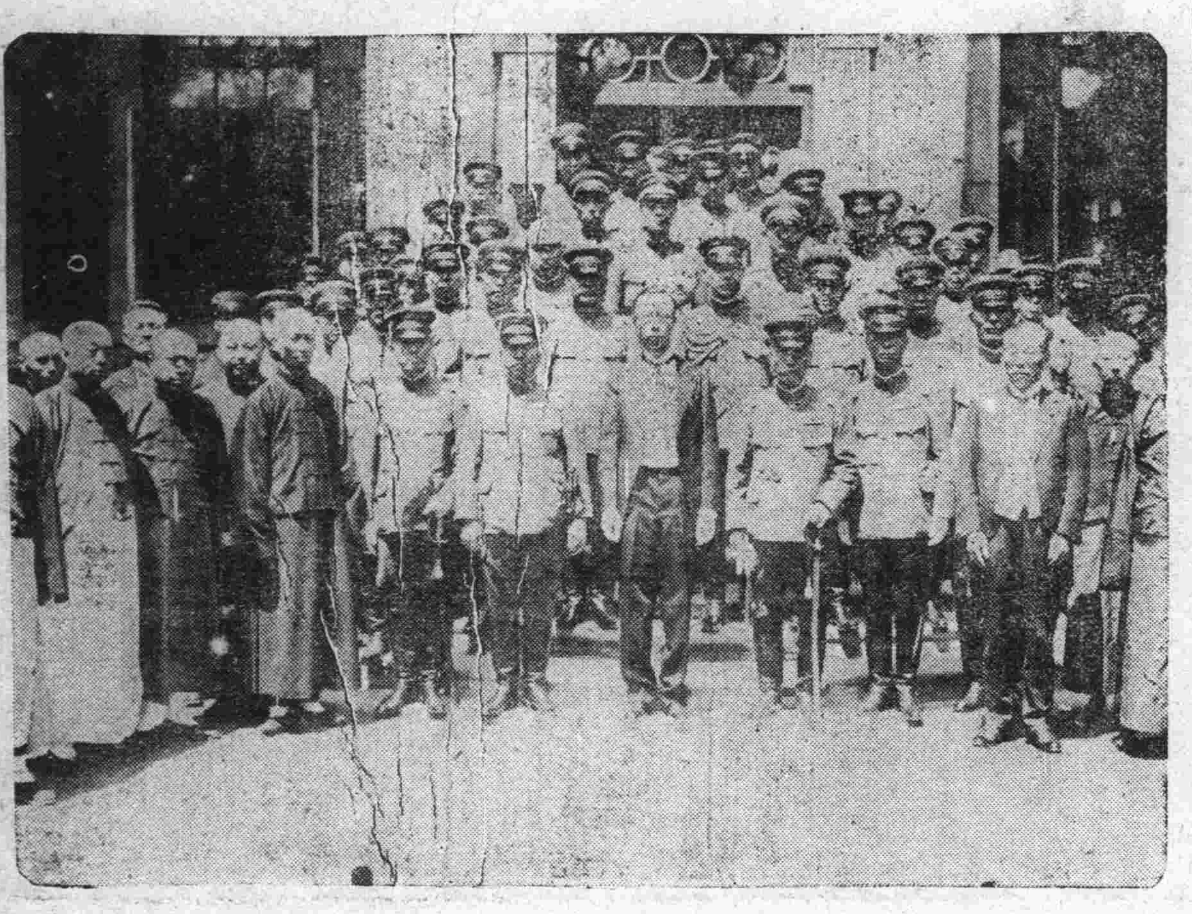
〔大連廿四日發國通〕銀高にかてゝ平津地方唯一の避暑地たる北戴河が本年敗兵横行し危險な爲、同方面の外人は星ケ浦めがけて殺到し、毎便每に數十名の歐米人が來連し、既に星ケ浦は七百餘名の外人が集つて、收容不能となつたので昨今夏家河子へ進出しつゝあり、同地水明館のバンガローも殆ど全部契約濟みとなつてゐる、「夏に斯くも多數の外人が關東州に集つたのは空前のことである

于學忠 天津市長を兼任

〔天津二十八日發國通〕天津市長周龍光の後任として河北主席于學忠の兼任說が傳へられて居たが愈々二十八日午前九時市府に赴き正式就任式を舉行することになつた

上海の海陸空軍青年暗殺團
正体は共產黨分子の集團

〔北平二十八日發國通〕上海來電によれば自稱海陸空軍青年暗殺團は二十七日宣言を發表したが之に依ると楊杏佛は部員達の逮捕を密告したので一味が暗殺したもので此外軍閥國賊はどんどん暗殺されると豪語して居るが之等は立派な共產黨分子の集團であることが判明したので大恐慌を來して居る



來京兵團長を主賓 官民合同大歡迎宴
昨夜ヤマトホテルで舉行さる

兵團長會議出席のため來京した坂本、西、廣瀨、松本、服部、宇佐美の各兵團長並びに井上獨立守備隊司令官安藤要塞司令官を主賓とし、關東軍首腦部を陪賓とする日滿官民有志（坂谷總務廳長代理、栗原總領事、荒木時局後援會長、發起）の歡迎宴は廿八日午後五時半より、ヤマトホテル納涼園にて開催される、來賓側四十名、主催者官民百三十名と云ふ盛宴である

關東軍麾下の部隊長 執政と會見

二十七日武藤軍司令官々邸に開催された部隊長會議の列席諸將星は二十八日午前十時半執政府を訪問溥儀執政と會見した（寫眞）中は溥儀執政武藤軍司令官（右）

天氣と氣溫

けふの天氣南の風晴驟雨模樣
二十八日の氣溫最高二十八度九、最低十五度八

株式會社 正隆銀行 本店大連 頭取安田善四郎

長靴、運動靴 各種ゴム靴 卸小賣 日本橋七五 合資會社 廣本洋行 電二〇四三

新築落成開業致しました どうぞ御贔負に
喜久屋旅館 藤山與作 記念館右橫 電話二四四七番

會席御料理 大連西檢番 永樂支店 吉野町三丁目五 長春座裏 電話二一七九

新京銀座スズラン電燈建設紀念
夏物特別大賣出し
大割引、見切品、豊富、お買物は此好機會に
自六月廿七日 至七月三日
和洋雜貨商 廣春洋行 新京銀座（吉野二丁目） 電話三〇五二番
輸入組合の購買傳票御使用大歡迎

移轉御通知
今回左記の處へ事務所移轉致し候間此段御通知申上候
入船町四丁目三十一ノ二 新京百貨店脇
辯護士 沼田勇 電話二一四七番

齒科一般 口腔外科 小兒齒科
齒科 安谷醫院
三笠町二丁目ヤマトホテル裏
東京齒科醫學士 安谷勇次

店員募集
外交員 一名
帳簿係 一名
希望者ハ履歴書持參本人來談年齢二十五、六歳迄市內ニ確實ナル保證人ヲ要ス
新京富士町三丁目七番地 滿洲醬油合資會社

惡德商人取締りに 愈よ新京署乘出す
近ごろは客を客とも思はぬ 商人さへ跋扈す

首都決定以來の新京の劃期的な衣替に乘じ各種營業者商人間に

『暴利』をむさぼる惡德漢が著しく跋扈したので關東廳に於ては昨年十一月一日暴利取締の廳令を布告し新京署保安係では以來積極的取締を斷行し惡辣商人の撲滅をはかりつゝあつたが、最近稍ゝ當局の取締の緩慢なるに乘じて又もや不當の利得をしめたり客に對して橫暴なる態度を取り主客顚倒の狀態をかもしつゝあるので保安係では近くこれ等の惡商人の一掃をはかるべく大々的な取締の

『陣容』を整へてゐる、右につき井上保安主任は語る

大体に新京の商人は一般に頭が高く主客顚倒の有樣である、吉野町の某本屋の如きは何度催促しても注文品を屆ける事なく店員などが影に廻つて一方の客の惡口を言つてゐる之等は商人にあるまじき言語同斷なる振舞ではないか新京景氣の然らしむる處であろうが商人營業者の一考を促す必要を認めたので今度は大々的に嚴重な取締を行ふつもりだ

視察團の來京 六月はちよつと減る
夏期休暇利用を待つてか

五月以來視察團旅行團は相變らず激增してゐるが、六月に入つてからは比較的少く、五十一團、千九百十九名、五月よりは三千五百一名、四十一團の減少である、これは見學視察は目前に迫つてゐる夏期休暇を利用する爲日延する向が多い故で、七月は非常な激增を示すものと滿鐵では今から手具脛引いて待つてゐる、一ケ團体の人數は割合に少く門司商業生の百三名が筆頭で三十名內外の團体が多い

瀋海鐵路株 昂騰

（大連二十八日發國通）舊奉天政府が官民合辦の資本を以て建設した瀋海線は滿洲國成立以來一日約三萬圓の收入をあけて居るがこれが爲最近同鐵路の民間株の賣買が非常な高値を呼んで行はれて居る即ち事變發生當時同鐵路の額面四十圓株券は金九圓內外の相場を以て賣買されて居たが最近これが十五圓五十錢騰し尚且異常な人氣を呼んで取引されて居る狀態である

北滿、南滿 兩鐵道
貨物連絡の換算率改正

滿鐵では北滿、南滿兩鐵路の貨物連絡輸送に適用する換算率を左記の通り改正、七月一日より之を施行することゝなつた

一、北滿鐵路收得額を滿鐵に於て收入する場合
△金百ルーブルに付金百八十三圓
一、滿鐵收得額を北滿鐵路に於て收入する場合
△金百圓に付金五十四ルーブル六十四カペツク

洗濯賃値上げ
洗濯業組合で決定

新京洗濯業組合は協議の結果洗濯賃ドライクリーニング、洗張り等の値上げを決議した組合員方の注文取所謂外交員は胸部に丸に新京洗濯と記したマークを附してゐるからそれは留意されたいと

新京神社 大祓式
あす午後四時半から執行

新京神社では明三十日午後四時半から例年の通り大祓式を執り行ふことになつた、その次第は左の通りで所要時間凡そ五十分の豫定

先つ大祓を行ふ由を本殿に奏す
次　祓式　開扉　獻饌　祝詞
　　奏上　撤饌　閉扉
次　祓律物を案上に置く
次　祓主大祓詞を奏す
次　祓主祓詞を宣る（一同ヲート稱す）
次　祓串を一同に頒つ
次　一同祓串を以て祓ふ
　左右左と祓ひ息を吹き掛くる事三度祓串を折り棄つ
次　祓主祓物を析き一切の物を燒棄す
次　一同一揖退出

美久仁湯開業

火災のため修理中であつた富士町二丁目美久仁湯はこの程改築落成二十六日から開業した

上級兒童はキャンプ生活
樂しい夏休みに際して 室町校での計畫

學童達に待たれる夏の休みもいよ／＼來月十三日から始まるが、新京室町小學校では沿線小學校聯合の熊岳城並に大連星ケ浦の保健聚落に參加するほか、全校兒童のため現地聚落を行ふことになつた、今年は西公園も一般散策者のため自由に使へない現狀なので學校を中心に全兒童のために朝起會、また前記聚落に參加せない虛弱兒童のために保健聚落、六年以上の上級生にはキャンプ生活を送らせやうといふ、學校、水源地、西公園で行ふ計畫を立て目下準備中で中でもキャンプ生活は兒童達には新しい試みであり樂しい夏の休みを天幕內で寢起しやうといふので兒童達には今から指折り數へて待たれてゐる

教員体育會
新京も猛練習

滿鐵沿線の教員聯合体育會は來る二日奉天國際トラツクで開催されるので新京側からも多數參加すべく各校では目下頻に練習中である、競技は陸上競技、バレー、テニスの三種目で四平街以北、奉天附近、遼陽以南、安東撫順の四組によつて覇權を爭ふことになつてゐる

昨日歸京
進水式出席者

二十七日ハルビン埠頭に於ける河川砲艦大同、利民の勇壯盛大なる進水式に參列した執政代理の侍從武官、趙立法院長、多田軍政部顧問、伊藤軍政部顧問、日本側の小林駐滿海軍部司令官、栗原總領事等は二十八日午後三時二十五分歸京した

貿易館の設置 具体的に決定
四十万圓で西公園東南隅に 資金は寄附を仰ぐ

急速に發展しつゝある新京に貿易館を設置し、その經濟的發達を助長誘導しグレート

『新京』を形作るべく各方面よりの貿易館設置要望の聲は叫ばれつゝあつたが、かねて新京商工會議所ではこれが具体化に關し銳意研究してゐたところこの程漸く大体の成案を得たので愈よ近く西公園東南隅に約四十萬圓の經費を投じ、堂々たる貿易館を設置するに決した、建設費及其他の費用は滿洲、內地の一般有志間より寄附の形式で募集することゝなりこれが打合せのため大垣書記長は近く

『東上』の豫定で、多年新京人の宿願であつた貿易館設置はこゝに遂げられ新京の圓滑なる經濟的發展に一大光明を見出したるものといふべく一般より絕大なる期待を以て見られてゐる

押すな／＼ 家事作品展
即賣品は忽ち賣切れ けふ一日で終る

新京地方事務所主催の家事講習所作品展覽會は二十八、九兩日露月町一丁目新京家事講習所內で開催中だが第一日は物凄いばかりの人氣で定刻午前十時を待ち兼ねた婦人連が開會とゝもに押すな／＼賣盛即賣の子供服その他三百余点が忽ちにして賣り盡して終つた出品は外出用女兒ドレス、男子ロンパース、ハウスドレス、アフターヌーンドレス、イブニングドレス、浴衣、甚平、寢冷不知、壁掛、モール人形、フランス人形、刺繡扇、クツシヨン、造花、スタンド等々同講習所會員の作品で二十九日も前日同樣午前十時から午後九時まで、なほ會期中午後六時から公園事務所から出張して鉢植の廉賣があり散策の男女客で大賑ひを呈してゐる

＝寫眞は同會場＝

簡閱點呼は 來月十八日から
參會者の心得數々

關東軍統轄の本年度簡閱點呼は別表の通り執行さるゝが新京に於ける點呼場は室町尋常高等小學校である、第一日は七月十八日新京第二分會二百四名、第二日は七月十九日新京第一分會二百一名、第三日は新京第一分會、第三分會二百一七名、第四日は新京第四分會、第五分會一百四八名合計七百七十名、毎日午前七時三十分迄に參會することになつてゐる、參會者の心得は令狀の裏面に詳細登載されてゐるが左の件は特に注意を要する

▲令狀は在留居、在留地變更居により新京警察署を經て關東軍司令官に屆けてある在鄉地について交付される本人不在の場合は家事擔當者か召集通報人が代理受領の上本人に交付する如く規定されてゐるも住所異動に伴ふ屆出は平素から確實に履行せねばならんのであるが此際特に深甚の留意を要する

▲到着時刻は午前七時三十分であるが十分前位には出席して兵事係員の取扱ひを受け指定の時間には執行官の權限內に入るを要す

▲傷痍疾病其の他の事故に依り參會不能の場合は家事擔當者、召集通報人が兵事係に出頭の上事情を詳細に述べて手續を手落ちのないやうせねばならぬ

昭和八年度關東軍簡閱點呼日割表

第一區　執行官　旅順重砲兵大隊長砲兵中佐　山村新
自七月三十日　鐵千窩、營蘭店以南三十里堡、以北
至八月十八日　二十里台以南八里庄以北、大連市旅順市及營城子以南各附近

第二區　執行官　南滿洲工業專門學校服務　步兵中佐　飯島重助
自七月二十日　萬家嶺以南田家以北、沙崗以南
七月二十六日　許家屯以北南台以南蓋平以北、營口及附近、立山以南湯崗子以北十里河以南首山以北、渾河以南沙河以北姚千戶屯以西

第三區　執行官　滿洲醫科大學服務　步兵大佐　池田武
自七月二十九日　撫順以西深井子以東、新城子以南以北
自八月十五日　新城子以南、奉天以北、孤家子以西、石橋子以南宮原以北、橋頭以南、祁家堡以北、草家口以南湯山城以北、五龍背以南安東以北

第四區　執行官　新京商業學校服務　步兵少佐　山內眞喜男
自八月五日　孟家屯以南陶家屯以北、劉房子以南
至八月九日　郭家店以北十家堡以南、泉頭以北、滿井以南中固以北、平頂堡以南新台子以北

第五區　執行官　關東軍司令部附　步兵大佐　世良孝熊
自七月十八日　新京及附近、吉林及附近
至八月十九日　哈爾賓及附近、齊々哈爾附近

點呼人員　二十七個所　五十三日間　七千有餘名
內譯｛既教育者約四千四百名　未教育者約二千八百名

井上日召等の公判開始さる

（東京廿八日發國通）井上日召等の第一回公判は午前九時卅分東京地方裁判所で開始された、井上準之助、團琢磨兩氏を射殺した外要路の大官並びに政民兩黨首腦部の暗殺を企てた井上日召以下十四名の血盟團陰謀事件の第一回公判は廿八日午前九時十分東京地方裁判所で開廷、傍聽券を求める群衆は前夜から裁判所に殺到の情況を呈したが、一般傍聽者は僅かに六十二名のみ許された

裁判長は酒卷貞一郎氏、辯護士は鵜澤聰明氏以下總勢廿四名出席、被告一同が着席するや、裁判長は被告の身分調べを開始し、先づ井上日召より口を開き、次で檢事より三十分間に亘り控訴事實の陳述を爲したが、各被告は耳を聳てて聽いて居た

江省蘭西縣に大降雹

（チチハル廿七日發國通）一昨日江省警務廳着電に依れば去る七日午後二時頃蘭西縣北鄕北安鎭隆盛台一帶に突如濃雲天を覆ふと見るや颶風起り鷄卵大の降雹物凄く附近十四ケ村の人家は倒壞し樹木並に農作物を四散せしめ午前零時漸く靜まつたが被害地は總面積三十支里平方に及び該地方面の秋の收穫は全く絕望となつた

十二對一で 新京軍恨みを呑む
州外野球優勝對撫順戰

第七回州外野球聯盟リーグ戰優勝試合は二十八日午後一時三十分から新京西公園グラウンドで簡瀨（球）服部酒井（壘）三審判の下に撫順先攻で華々しく開始された、この日兩軍とも緊張味を見せたが第三回から俄然撫順の攻擊物凄いものがあつて新京を壓し十二對一で撫順大勝し榮えある優勝旗を獲得した、閉戰三時十分、試合終了式後荒木會長から撫順軍に優勝旗を授與荒木會長の發聲で萬歲を三唱この大會を終つた

得點

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
撫順（先）	0	0	0	3	2	0	3	4	0	12
新京	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

試合過經

第一回　撫順小島三振、渡邊三振、二匍▲新京、小幡兄三遊間に安打小幡弟の犧打に二進淺香の右飛に小幡三進、小野三匍に終る

第二回　撫順成松右翼安打に出て出原四球を利し佐藤の投匍に成松三壘で刺ろ、俣野二匍に走者二一三、▲井ノ下三匍に好機を逸す

第三回　撫順、西山三邪飛小島、渡邊ともに二匍▲新京、高橋三匍川田四球に出で二盜續いて捕手の惡投で三壘好機を惠れたが小幡兄遊飛に小田重殺

第四回　撫順小寺四球成松セフチイバンド內野安打さなりか寺二進出原遊匍に成松二壘に刺さ、走者三一佐藤右、中間に三壘打を放ち走者二歸し二點を先取佐藤本壘成り生還俣野左飛井ノ下投匍▲新京小幡、弟遊擊越安打淺香小野ともに左飛保田中前安打に小幡二進したが古賀中飛に空し

第五回　撫順西山左中間に安打小島三遊間安打渡邊遊匍に西山三本間に挾殺この間小島、渡邊壘進小寺二飛成松四球を利し二死滿壘出原右、中間に二壘打を放ち小島渡邊一擧生還▲新京藤戶三壘強襲安打高橋の犧打に二進小田遊匍で三進、小幡兄左前安打に藤戶生還一點を返す、小幡弟左飛

第六回　撫順三者凡退▲二死後保田中飛失に生き二盜したが古賀中飛

第七回　撫順小島二遊間に安打渡邊バント投手二壘封殺を企てたが成らず小寺右翼線上に本壘打をかつ飛し走者一掃三點を加へた成松左飛一匍佐藤二匍失に生き二進、▲新京二死後川田四球に出たが中飛

第八回　撫順井ノ下左翼右に安打西山四球井ノ下三盜小島の中飛に井ノ下生還渡邊左前安打小寺三振後成松右飛右翼手落球西山渡邊生還出原遊擊左を拔く安打成松生還佐藤二匍新京一死後淺香遊擊頭上を拔く安打小野中飛保田左飛

第九回　撫順二死後西山四球小島投直▲新京三者凡退

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	殘壘	失策
京（6小幡兄 7小幡弟 8淺香 3小野 4保田 2古賀 5藤戶 1高橋 9川田）	31	1	5	2	1	0	2	6	1
撫（2小島 9渡邊 7小寺 5成松 3出原 4佐藤 1俣野 6井下 8西山）	42	12	13	0	3	3	5	7	2

本壘打　小寺（撫順）
三壘打　佐藤（撫順）
大會打擊賞は左の三氏に授與された
一等　成松（撫）四割七分一厘
二等　出原（撫）四割一分七厘
三等　服部（安）四割

大會雜觀

△撫順對新京の決勝戰新京は高橋投手を立て撫順は俣野をプレートに立て必死の攻防△だか此日新京最初より前回の樣な元氣にさほしく高橋又いつもより意外に出來惡くて四回五回に五點を與へ五回の裏新京漸く一點を返したが七回二走者を置いて小寺の右翼線際ライナー本壘打で一擧三點取らるるに及び試合を決定的のものにして了つた△高橋の出來もさる事乍ら根本の敗因は新京の打擊不振によろ、俣野の球を今少し研究して合せたらあんな慘敗は喫しなかつたらう出る打者も／＼平凡な飛球に倒れたのはあまりにもみじめであつた△今度こそはと六年振りに優勝出來るかと思はれたか榮光遂に空しく撫順の優勝に歸したのは是非もないさして十二對一のスコアーは地元の優勝戰さしてあまりにもひどい、負けは負けとして戰意を失はず最後まで善戰す可きだ（白浪生）

明治對滿洲國 コールドゲーム

明治對滿洲國の野球試合は二十八日午後四時から西公園球場で川上（球）杉田小野（壘）三審判の下に滿洲國先攻で開始され、明治一回一點を先取した四回滿洲國劣らず一點を返し同裏に明治一點を加へ二對一の接戰を交へたが五回裏明治の攻擊に移るや降雨となり惜しくもコールドゲームとなつた

							計
滿洲（先）	0	0	0	1	0	0	1
明治	1	0	0	1	0	0	2

2對1

實業優勝 對滿俱決勝戰

7―4

（大連二十七日發國通）二勝二敗の後をうけた滿實決勝戰は、二十七日午後四時半滿俱球場で、井口、川久保、尾崎審判の下に開始された

實業一回に一點を先取すれば同回裏で滿俱も一點を酬ひ、五回實業三點を得れば滿俱同回裏一點、六回二點を得て再び同點さ接戰を續け、七回更に一點九回二點を加へたるも滿俱は其後得點なく七對四で實業優勝す、閉戰七時、バツテリー並に成績左の如し

△實業　岩瀨＝武井
△滿俱　濱崎＝片岡

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
實業	1	0	0	0	3	0	1	0	2	7
滿俱	1	0	0	0	1	2	0	0	0	4

	實業	滿俱
安打	一〇	八
失策	三	三
四死	四	三
三振	七	二
殘壘	九	九

全英庭球戰で 我選手活躍

（ウインブルトン二十七日發國通）全英庭球戰大試合第二回戰に於ける我選手の試合結果左の通りで、布井は終に惜敗した

佐藤　六―三、六―三、七―五　ハリス（南阿）
三木　八―六、六―一、六―一　ノリス（米國）
スチフエン（米國）　九―七、二―六、九―七、一―六、六―二　布井
青木　六―一、六―三、六―二　モリス（英國）

我が四選手快勝 全英選手權大會第一日

（ウヰンブルドン二十六日發國通）本日の全英庭球選手權大會第一日に於て伊藤敗退した外三木、布井、佐藤、青木の我が四選手は何れも快勝した

サツター（米）　六―二、八―六、六―一　伊藤
三木　一一―九、六―一、八―六　ティンクラー（英）
布井　六―二、六―二、六―四　ブリーフエン（新西蘭）
青木　六―四、七―五、七―六　カミングス（濠）

傳染病日報

▲本日發生傳染病患者氏名、自六月廿七日午後三時至六月廿八日午後三時
赤痢　三笠町澤井フジエ（一〇）
同　彌生町杉山キヨ子（二六）
同　東三條通沖津德義（二〇）
同　梅ケ枝町瀨賀高四郎（三二）
同　日本橋通安藤和雄（一八）
同　城內井上博夫（四ツ）、同東三馬路宮浦テルミ（三ツ）、パラチフス金輪寮白濱春義（二〇）腸チフス中央通山根光太郎（四二）
計　九名
▲本日累計（四月一日以降）二六九名
▲本日現在　一二五名

箱田氏令孃 泰子さん死去

新京日報社編輯長箱田宗雄氏の次女泰子（一）さんは豫て疫痢病にて滿鐵病院で入院加療中の處藥石其効無く廿八日午前六時卅分頃死去した、なほ二十九日午後四時より祝町三丁目の自宅に於て告別式を營む

匪賊逃亡 命からぐ＼

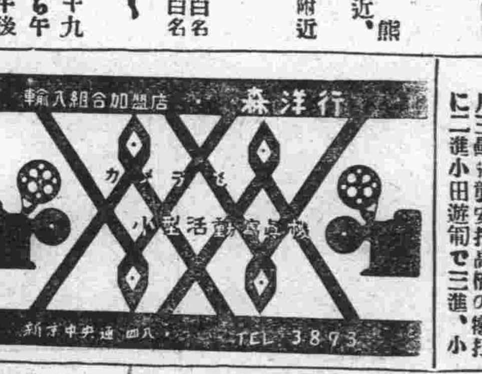
（四平街支局發）四平街東南方約十邦里吉林省伊通縣第六區連花街附近には豫てから匪首海字の率ゆる馬賊三十余名が蟠居惡虐の限りを盡して居たが、二十四日未明を期して半拉山門並に靠山鎭の兩自警團は協力行動を起し同日午後一時賊團と交戰之れを四散せしめたが此の戰に於て賊は二名の死體と銃器五挺を遺棄して命からぐ＼逃走した

四平街から 暑中稽古

（四平街支局發）當地に於ける武道暑中稽古は來る七月三日から十五日まで十三日間武德會四平街支部主催体育協會後援のもとに四平街道場にて催さるゝ

三咲屋女將逝く

吉野町の飲食店三咲屋の女將小澤ムナさん病氣中の處二十八日午前三時死去、葬儀は二十九日午後一時半自宅出棺曙町大正寺で執行される



女給さん募集
十五六歲から二十歲位迄の方數名入用希望者は本人來談され
新京東三條通五八
瀛車食堂

店員募集
一、年齡二十才前後
二、市內ニ保證人ヲ要ス
希望者履歷書持參本人來店有リタシ
日本橋通六三
金華號支店

近日開演
浪界の藝豪……聲調完璧
秘藏の珠玉篇に新作時局物發表公演
吉田奈良丸
助演幹部　美當軒峰月　廣澤晴海
長春座
上原演藝部

森永ミルクチヨコレート
より菓子を安心して買へる店

陣中美談

頻死の重傷に屈せず 戰鬪の分隊長

迎部隊 陸軍歩兵軍曹 南 豊德

中隊は神代支隊に編入され四月十三日新庄子を占領し、其の南方高地及灤河右岸の敵情地形を捜索中、支隊は速に永平の敵を攻撃すべきを命ぜられ、午後十一時新庄子出發夏管營、洪家庄を經て、先づ大横河庄に向ひ前進せり、午前四時頃馬家哨東方青龍河の橋梁に差しかかるや、敵は一齊に射撃を開始す、中隊は此困難なる状況を速かに脱すべく、敵の射撃の間斷を利用し分隊毎に躍進して該橋梁を通過す、然るに此頃敵の射撃は益々熾烈なり、小隊は中隊の左第一線として攻撃を命ぜらる、小隊長は先づ輕機關銃三ケ分隊に火線構成を命ずるや同軍曹は勇躍雨霰と飛び來る敵彈を物ともせず、率先々頭に立ち部下の志氣を鼓舞し猛烈なる敵の側射を受けつつ火線を構成し、直に射撃を開始す、然るに數分にして歩兵砲は故障を生ず軍曹は上半身を起し故障排除中不幸敵彈は軍曹の彈藥盒を打貫き、下腹部に命中し銃側に倒れしが、再び奮然として立ち上り身に重傷を負ひ乍ら迅速機敏に故障を排除して射撃を繼續せしむ

部下之を知り後方にさがりて手當をする樣進言せしも敢へて意とせず「今分隊長のさがる時にあらず」と、部下を叱咤激勵し又附近に隣分隊の兵來りて大なる姿勢をなし在るを見「彈丸が多くみえぞ危いから姿勢を低くくせよ」と注意しつつ、戰鬪を繼續し以て中隊の攻撃を容易ならしめ敵を敗退せり、後衛生班に收容せらるる軍曹は性温順寡言にして沈着剛膽なり、瀕死の重傷を負ひ乍ら敢て一命を顧みず勇敢に戰鬪せる反面に部下を思ふの温情迸り、共に武人の典型なり（鹿兒島縣揖宿郡今和泉村）

不撓不屈一歩も後退を肯んぜず

迎部隊 陸軍歩兵一等兵 非道仁

性温淳篤實にして、忠君愛國の念強く、出動以來一意專心警備其他の勤務に精勵し、熱河進出に當りては大行李監視の大任を受け、赤峰に於て無事任務を完了して、中隊に合し爾後中隊と行動を共にしつつありしに、偶々三月二十二日蒲家營子南方高地に於ける敵陣地に、中隊突入するに當り第二小隊に屬し、敵前約十五米、敵の手榴彈雨下する急斜面を物ともせず之が背後に迂回し眞先に突入せんとする一刹那、敵の投擲せる手榴彈の破片により、腹部に負傷せるも更に屈せず退却中の敵を猛射し、身の負傷を忘れ、敵兵全く影を没し戰鬪一先づ終りを告ぐるに當り、只小隊長のみに報告し其の後退の勸めにも「倒れるまで行きます」と一歩も退く氣色なく、終夜陣地の構築並に警戒に任じ、翌朝中隊長の命に依り涙ながらに後退す、之を知りし全員感奮せざるなく志氣を益々旺盛ならしめた（鹿兒島縣大島郡龜津村）

一擲彈筒手 よく敵の夜襲を拒はむ

迎部隊 豫備役陸軍歩兵上等兵 大隣 盛二

寡言にして沈着、剛膽滿洲出動以來、克く警備其の他勤務に忠實なり、熱河作戰に於ては、快速部隊に加はり、二月二十三日吹雪に暮れし太田公司の無人部落に露營中、敵は大膽にも夜襲を繰り返し來る、此の際に於て上等兵の小隊は、第九中隊の左翼に增援を命ぜらる、上等兵は彈丸雨飛する中を物ともせず照準の適確を明せんがため、土壁上に上半身を現はし、擲彈筒を以て群る敵に猛射を浴せ、土壁近く肉迫せんとする敵を一歩も近づけず、敵の心膽を寒からしめ、遂に其の企圖を捨て退却の止むなきに至らしめたり、如斯は上等兵の沈着剛膽にして始めて能くするを得べきものにして、戰友相顧みて驚歎す、（鹿兒島縣川邊郡知覽村）

新潟縣議 視察團來京

敦圖線開通と共に滿洲國に多大の關心をもつ新潟縣滿鮮視察團は同線を經て二十七日夜來京、新京に在つた越後新聞社長五十嵐辰豊氏の案內で左の諸氏が二十八日本社へ來訪した、一行の代表の談る所によれば新潟縣廳では滿洲國人の視察團には特に便宜をはかる用意があり滿洲語に堪能の係員を常置して一切の世話をなすさうである

新潟縣滿鮮視察員 新潟縣會議員 今成留之助
同 安藤文祐
同 田邊正一
同 白井秀吉
同 渡邊代太郎
同 藤田喜太郎
同 田原七藏
同 中村又四郎
同 松瀬欽五郎
同 佐々木
新潟縣商工主事 內山信吉

吳服ハ 中央通り やまき吳服店へ 電話三八〇五番

景氣行進曲 大そうな鼻息だ

（四十七）黒頭巾評

前回に説明漏れの部分を少々補足して置きます。

白『□三』と斜走したのへ、黒が『□四』と頂けて來た時分に、白『□五』と引いてゐるのは、如何にも緩漫だと、思はれる方があるかも知れぬ。

現代の日本は孰れを見ても凡て是積極方針である。

ジュネーヴでは聯盟を脱退するし、滿洲では熱河を攻撃するのである。又國內では例のインフレーションで景氣行進曲を奏でると云ふ按配である。

大そうな鼻息だ。

こちらでも、一つ威勢よく、白（い）と突張つて積極方針に出る。

すると、黒『□六』と約へた時に、白（ろ）と切つたならば黒は定めし弱るだらうと言ふ寸法である。

だが、それは飛んでもない亂暴な喧嘩である。そんな手は無いのだと、最初は單純にさう思つてゐたのであるが、能く考へて見ると却々さうではない。

さうすると、何う言ふ手段になるかといふに、黒は先づ（は）と突き出し、白『□五』と約へた時に黒（に）と絆ね白（ほ）と粘ぐのである。

そこで、黒『□七』とおいて（へ）眼を取りに行くと白（へ）黒（と）白（ち）と振り替られて、黒は詰らぬ。

切つて行く方がよい

で今度は、白（ほ）と粘いだ時に黒は『□七』と斷かずに、『□七』と盤らうと打つ。

すると、白（り）と切り、黒（ち）白（ぬ）黒（へ）白（る）黒（を）白（わ）黒（か）白（よ）黒（た）白（れ）となる。

そこで、黒『□七』と斷いても白（そ）と尖む手があつて生きである。

なら、黒（そ）と尖むと、白は『□七』と眼を持つて矢張り生きである。

さうかと言つて、白（り）の時に、黒（ヘ）と粘ぐ譯にも行かぬ。

萬一そんな事をすると、白に（る）と伸びられて、黒は忽ちベシャンコである。

卽ち、黒『□七』白（つ）黒（わ）白（ぬ）で、それ迄である。

だが、前の手順の中、黒（は）と出た時に、白『□五』と受けずに（り）と閙を絆ねるかも知れぬ。

さうなりや、黒は『□五』と取り切るより外に仕樣がない。

で、白（そ）黒（ね）白（な）黒（ら）白（む）黒（う）となつて黒生きである。

それを白無理に（ゐ）と打つて、取りに掛つても、黒（の）白（お）黒（く）白（や）黒（ま）白（ま）黒（け）白『□八』黒（ふ）白（こ）黒（え）白（て）黒（あ）となるから黒は大丈夫である。

こういふ風に考へて見ると白は『□五』と引いて生きるより（い）と突つ張つてから（ろ）と切つて行く方が却つて良かつたと言ふ結論になる。

中腹を圍ふ

續いて、白『□九』と頂けて中腹を圍ふといふ方針である。

で、黒『□十』と絆ね白は『□十一』と引いた。

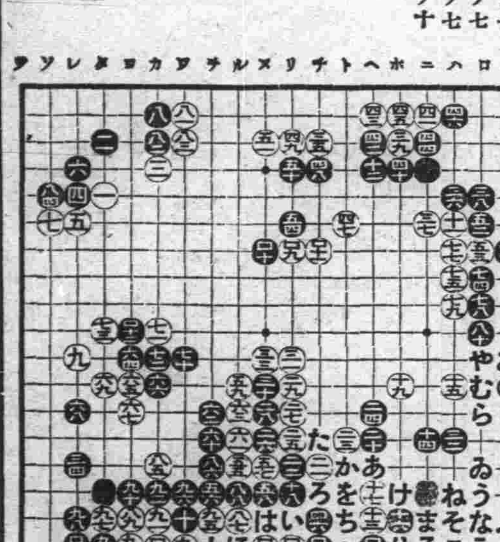
そこで、黒は方向を換へて『□十二』と突き出した。

これは申す迄もなく先手に圍ひはない。

圍碁新手合（三局の十一）

三段 石塚行誠
三子 鶴岡隆

□ リノ七
□ ヌノ七
□ チノ七
□ ヨノ十



ラヂオ欄

二十九日（木）新京
奉天後四、〇〇 レコード
相場 商業通信社
新京後四、三〇 演藝
同 後五、〇〇 ニュース
同 後五、三〇 時事解説
（滿洲語）
東京後六、〇〇 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 演藝又は講演
同 後七、〇〇 ニュース
同（英語）後七、一〇 ニュース
同（露西亞語）後七、二〇 ニュース
同（朝鮮語）後七、三〇 ニュース
同 後八、〇〇 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同 後八、三〇 演藝
東京後八、二九 時報
同 後八、三一 ニュース
東京 後八、四五 東京中央放送局編輯

浪曲三座長競演 二日目讀物

浪曲愛好家の多大な期待を受けて二十八日夜から長春座に開演した浪花三座長木村友忠、桃中軒如雲、木村忠衛を中心とする一行の二日目二十九日夜の讀みものは左の如く決定した

鹽原太助 木村忠吉
雷電と小野川 桃中軒如風
劍豪樋口 敷島尖藏
近世俠客 木村正かり
四谷怪談 桃中軒小雲
釜の血烟 木村友忠
滿洲事變 桃中軒如雲
河內山宗俊 木村忠衛

海の外から

□金貨百五十萬ドル流入 仄聞する所に依れば此の數日來、某方面から南洋キューヴァ島を經て米國に向つて一日白五十萬ドルの金貨が流入してゐると

□犯人追跡用自動車 紐育中央警察當局では犯人追跡用自動車の改造に關し豫て鳩首協議中であつたが此の程右自動車を金鋼鐵製のものとし、周圍に二十四個の拳銃發射口を設けることに決した

□汽船の電力化 科學の國獨逸では石炭を燃料として居る一般近海航路船の電力化を叫んで石炭全廢の聲が漸く盛んとなり此の程定期船ブレーメン號（五千噸）に應用試驗した所、所期の成績を收めたので近く全汽船に適用するものと見られてゐる

□黄金を引揚げて思案 一九二二年金銀財寶五百萬ドルを積んだままスペイン沖の海底四百呎の所に沈沒した汽船エヂプト號の引揚げ工事は此の程完了したが案外予想價格の所得がなかつたと言ふので關係者は黄金を前に思案の態であると

□メキシコ陸軍の飛行機 メキシコの陸軍では平均重量より七百ポンド乃至千五百ポンド輕いオール金屬製飛行機を採用使用することになつたが、右は米國加州の一飛行家の創案になつたもの

□二千五百種の水族集る 最近華府に建設された理想的水族館には全米各地の水產漁を少くも六種以上放し飼ひする計畫を樹てたため目下二千五百種集つてゐると

入札

二十六日
レターケース 二ケ 三三圓〇〇錢 鵬平洋行
タイポグラフ用ローラ 一ケ 二五圓〇〇錢 北原紙店
カーテン 七窓 一四七圓〇〇錢 山葉洋行
葉卷 五箱 二七圓五〇錢 金泰洋行
布巾 一五〇〇枚 四三圓五〇錢 田中商會
雜布 一〇〇〇枚 一七圓〇〇錢 同
石鹼 一〇〇〇ケ 一二〇圓 丸德商店
滿文タイプライター 一臺 一三〇圓〇〇錢 樺太商店
スチールキャビネット 一ケ 一五圓九〇錢 英美煙公司
チエンメン（五〇本入）三罐 三五〇圓〇〇錢 日本タイプ
日文タイプライター 一臺 三五〇圓〇〇錢 同
インキスタンド 一組 一五圓〇〇錢 金泰洋行
白紙 一〇〇〇枚 一五圓〇〇錢 北原紙店
印刷 一〇〇〇枚 六五圓〇〇錢 川口印刷所
タイピスト座褥簿 三〇冊 三六圓〇〇錢 世界堂
タイプライター受付簿 一五冊 二二圓七五錢 同
教科書原稿用紙 二二〇〇枚 三〇圓八〇錢 双和洋行
文書カード 四〇〇〇枚 一六圓〇〇錢 同
印刷 六〇〇〇枚 一八圓〇〇錢 同
警備用紙 二〇〇冊 三八圓〇〇錢 同
物品出納簿用紙 五〇〇〇枚 四〇圓〇〇錢 同
機械備品臺帖 二〇冊 五〇圓〇〇錢 同
同 六冊 二四圓〇〇錢 同
麵包工場調査表 九〇〇冊 二五圓二〇錢 近澤洋行

二十七日
△タイポグラフ用ローラ、二本 五〇圓〇〇 北原紙店
△食器覆ひ、二十個 二九圓〇〇 山縣商會
△物置ダンス、二十個 五九九圓〇〇 品川洋行
△地圖格納戸棚、二個 二一六圓〇〇 同上
△グラドリッチタイヤ、六本 二三四圓六〇 滿洲センタース
△支那茶、五百袋 三六〇圓〇〇 金泰洋行
△日本茶、九八〇袋 一七六圓四〇 丸德商會
△スチール、キャビネット、二臺 二七〇圓〇〇 昌和洋行
△寢臺、二臺 三五圓〇〇 樺太商店
△同、七臺 一二二圓五〇 品川洋行

工事落札

△民政部並興安總署增築廳舍暖房給排水衛生器具裝置工事示談一八九五〇圓、齋藤製作所
△民政部及興安總署增築個所電燈工事 六月廿六日午前九時開札 落札一五八八圓、松井電氣
△大同自治會館メートル取付工事 六月二十六日午前十時開札 一〇三八圓〇〇 和登洋行

鮮魚小賣相場

活鯛	九五	氷鯛	四五
甘鯛	四五	小鯛	三〇
鰹	五〇	平目	四三
鰆	二一	鱸	一八
鯖	一八	アジ	一三
星鰈	一三	ヒラメ	一〇
ボラ	一六	マナカツ	二一
刀魚	一一	トビ魚	一九
ムツ	一九	アコウ	五〇
金頭	一八	フカ	八
タコ	三五	甲イカ	四〇
水イカ	九一	イセエビ	八五
車エビ	五九	クモ	四五
アナゴ	二五	アワビ	七〇
カマボコ	一八	ヤズ	二三
ウナギ	九〇		

電話開通 四七三八番
疊專門 藤山商會 新京朝日通り

御料理 開花 電二一三六。二一〇三番

ダージリンの精 アッサムの粹 兼備 風味と芳香
眞に世界に誇る可き純國產
三井茶園製 日東紅茶
（市內各食料雜貨店に有り）

●嶄新の圖案御印入御好に應ず●
廣告マッチ
ウチワ扇子
カレンダー
進物用品一式
御注文は多年の信用と堅實なる弊店へ！
明年度カレンダー新版見本出來ました御一報次第參上
御專門 新京東二條通二三 出田吟味堂

滿洲語講習生募集
一、期間 六ケ月
一、學費 一ケ月金貳圓
一、講習時間 毎日午後自一時至三時
一、講師 北京人
一、教科書 簡易支那語會話篇、一班（注音字母ヨリ懇切ニ教授ス）急就篇 一班
昭和八年六月
新京日之出町六丁目二番地（取引所東）
拓殖大學經營新京講習所

額と繪
尚御用命に依り適宜寸法の額縁御調製致します。
品川洋行 TEL. 3062 2593
和洋家具・室內裝飾 世帶道具・建築材料
新京日本橋通

五秒デ出來ル
アイスクリーム製造機
ボントン
ビール。サイダー等如何ナル飲料水ニテモ五秒デ凍ル
新京 發賣所 金泰洋行
北滿總代理店 新京祝町二 泰和洋行

新京 石川千代次釀 電話三七三五・三四八七・三五〇番

森永ベルトライン
日本橋通り 金泰洋行 電22

黒船往來

禁轉載上映上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第百九[illegible]

虎穴に入る(一)

白軒、フラメの兩名が山の老人カチウドから數奇な身の上話を聞かされ、互に握手がかはされた日の午下り、高島の出張番所へ沖の黒船から再渡の談判委員がやつて來た。番所の板敷の眞ン中に、粗末な假づくりの椅子、卓子を据へ、更紗の卓子掛や花びんなどをあしらつて、多少の異國趣味を漂はしたところなぞ松前領時代に見られぬ新しさが匂ふてゐた。

で、前日のやうに濱邊に從士足輕の蠻を配し、木製の大筒などを持出して大いに威勢を示して待うけたところ、案に相違して、その談判委員の一行は少人數だつた。

五六名の水兵に取まかれた、今はフランス軍艦の通譯官乾典膳只一人だつたので、大砲などを持出した大がゝりな警備ぶりがいさゝか氣恥かしくもあつた。

談判委員の典道が、今日はいかなる魂膽あつて單身乘込んできたかしれぬが、彼は存分の意趣をもつ格之進のをる、いはば虎穴に入らうとするのだから、相應の覺悟があつてのことだらうが、それはそれとして、こちらの番所の折衝役もけふは顏並がからりと變つてゐた。

前日の頭役佐々木宇太夫、目附富山忠助兩人は顏を引つ込め、そのかはりに意外にもその椅子を占めたのは北方探檢家の磯貝武七郎、夏川左京の兩名だつた。

双方ともに、けふは、豫想外の駒を持出したものだ。

さて、兩國委員が定めの椅子につくと、互に冷靜に默禮した。

やゝあつて、磯貝武七郎、鄭重な口調で名乘りを切つた。

『けふはお役目ご苦勞に存じまする。頭役佐々木宇太夫どのが直接應對のところ、實は當方に少々取込たる用件あつて拙者代つてつかまつる次第でござります。拙者こと番所詰磯貝武七郎と申す。またこれなる介添役は夏川左京どの、以後お見知りおかれまするやう』

すると、典膳は、ポケットから一枚の圖面を取出しテーブルのうへに置いて

『いや、申遲れました。當方においても、司令官モリエール少將閣下が參るところ、今朝來當高島沖において、砲術調練の檢閲をなす儀により、小官がこれに代つて出張いたしました次第。小官ことルアヤシア・ロマン、日本名を假に乾典膳とでも申しておきませうか。前日貴國の兵士の一人が、小官を乾典膳とあからさまに申したによつて、先づはその乾何某にて結構に存ずる。ハハヽヽヽ』

ルアヤシア・ロマン、はてな？……と、武七郎も左京も、小首を傾けた。

その樣子をチラとぬすみ見た典膳のロマンは再び哄笑した。

『ハヽヽヽ……さう驚き召さるな。小官の名が、たとへロマンであつても、典膳であつても、それはけふの小官の役目とは何等の關係もないこと、いはば名前など人間のたかが符牒でござるよ、ハヽヽヽ』

『いかにも、ハヽヽヽ』

武七郎も、おもはず苦笑を洩した。が、若い介添役夏川左京は、それどころではなく、いまいましげに相手を見据えた。

『では、ルア……ルアシア・ロマンどの、貴殿は眞實フランス國人だと言明なさるか？』

『ほう、これはきびしい詰問のされかた……が、しかし、その吟味も今日の小官の役目とは拘りのないこと、小官は立派にモリエール少將閣下の代理人でござる』

『その逃げ口上は拙者素直に受容れ兼ねる。拙者等は眞實のフランス國人と談判はいたすが通譯官のそこもとゝ談合することは眞つ平でござる』

左京はなんとおもつたか、きつぱりとあびせかけた。

御藥の御用は是非御電話にて
電話 二四七六番 二六〇二番
吉野町二丁目一番地
東亞號藥房

「新京一の機械工場」
各種機械設置並に設計圖面
發動機 ウオシントポンプ
電氣時計 修繕
諸機械 マシンツール 請負
營業種目
鐵工 煖房
建築金物請負
自動車修繕
長春鐵工所
新京東三條通六十番地
日本領事館前

野外運動の好時期
野球
テニス用
魚釣
其他品
一式
ノンチク 開襟白シヤツ 入荷
電話三四四六
西山運動具店

支那 煉瓦販賣
曙町二丁目二十四號
東本願寺裏小路
泰昌號

盛京時報
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歴史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を占む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也
本社 奉天　支社 大連 東京 長春 大阪

穀物膨張機 (富豐庫在)
小資本デ出來ル
金儲ケ
早ク買ツテ早ク御儲ケナサイ

カナヘ商會
新京曙町四丁目九
(電話三七五〇番)
工場 新京富士町六丁目

診療受付 正午より午後三時まで
内科 小兒科
杏林堂醫院
中島信之
電話二五二〇番
内科、小兒科 醫師 堂脇サト子
隨時往診の需に應ず

運命の鑑定
我が豫言界の泰斗 東洋性相學會長
タアーイナカ外史先生親鑑
前總理大臣 高橋是清閣下曰く……
進化哲學は眞に人生行路の羅針盤なり
不思議にあたる百發百中
雄志を抱いて滿洲に空しく日を送る人、事業前途の方針に迷へる人家庭の災害結婚の良否其他人間世渡諸問題即座に解決し暗黒より光明へ……
機を逸せず御越しあれ 時は金
注意 鑑定は一人宛故絶對秘密は他に洩しません
期間 自六月二十一日朝八時 迄六月三十日晩九時
新京日本橋通り驛前
旭ホテル内

銘酒 菊正宗 白鶴
ビール サイダー
新入荷
森川商店
デンワ3075

内科 小兒科 神經科
祝町太子堂前
福島醫院
電話二九五八番
電話ダケハ夜十一時ヨリ朝六時マデ御遠慮ヲ願マス

壓倒的の好著
櫻井肉彈少將序文並口繪
高橋源太郎氏著
新滿洲國見物
四六版三百四十頁 寫眞三十、挿畫七十 布表紙箱入美本
本書は全篇妙洒脱な對話体で終始し、言々悉くユーモア、讀者をして引きずり〱一氣に讀了せしめて滿洲國の眞相を最も明快につかましむ、試みに一たび本書を繙け、單なる讀物としても稀有の力作、一九の東海道膝栗毛、瀧川立耳の日本見物と共に三大名著たるの稱を寄するに躊躇せざるべし、女も讀むべし、子供も讀むべし
發賣所 大連、奉天、新京 大阪屋號書店

和洋家具製作販賣
家屋修繕諸工事請負
幸昇號
祝町五丁目(モスコー東入)
中村製綿所前
取次(電話二一六一番)
日本人熟練職工數名ニテ迅速御仕立ニ應ジマス

草履のシーズンは訪れました
小林の履物は皆樣の御手許へ參るべく
最新流行の御履物が澤山參りました
どうぞ御來店を
輸入組合加盟商
㊂ 小林履物店
電話二三四四番

●酒よし●味よし●女よし
東一條通 精養軒 電話二三〇五

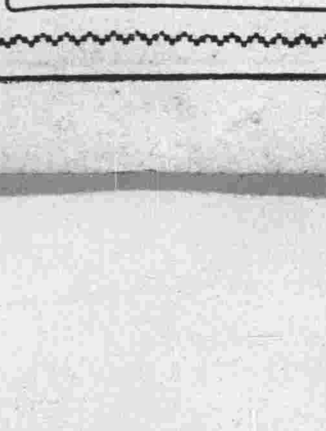
電通 4723
日の丸看板店
新京吉野町一丁目

土木 建築
請負業
合資會社
昭和土木
新京祝町五丁目二番地
電話長二九九三番

公認 鴨緑江白魚水産組合製造
鴨緑江名産
白魚
ほまれ ほし
到る処 百貨店 食料品店 にあり
丸平洋行 電二六四〇

御料理 會席
大吉
水崎よし
電話三一五九番

英國製高級煙草
フェデラル
コルク口付

皮膚、泌尿科 外科、性病科
同仁醫院
富士町一 電話二六〇六番
診療(自午前九時 至午後五時) 日曜祭日午前中

毎度有り難う存じます
おでん 小料理 極樂
夜るの散歩に!!
一寸一ぱい
極樂で!!